

次期計画における各機関の主要な取り組みについて 《国交省姫路河川国道事務所》

「ながす」：河川・下水道対策

- 【継続】 河川改修(国管理区間) 2
- 【新規】 気候変動を踏まえた治水計画の見直し..... 4

「そなえる」：減災対策

- 【新規】 内外水統合型水害リスクマップ..... 7
- 【新規・継続】 「減災に係る取組方針」※に基づく取組 ... 11

※加古川減災対策協議会で決定

- 加古川流域タイムライン
- マイ・タイムライン作成講座
- 重要水防箇所合同点検 等

その他

- 【新規】 特定都市河川の指定の検討 16
- 【新規】 グリーンインフラ（自然再生、かわまちづくり）..... 19

② 河川改修事業

数多くの洪水をもたらしてきた加古川と揖保川。流域で生活する人々が安心・安全に暮らせるように、堤防の整備や河道掘削、井堰の改築などを行い、洪水を安全に流下させる能力(流下能力)の向上に努めています。

また、堤防の浸透に対する安全性および水衝部等の河岸侵食に対する安全性が低い箇所についても対策を実施しています。

○加古川

たかさごほか

■高砂他地区（高砂市、加古川市）

事業の概要

多数の住宅地や播磨臨海工業地帯の工場群が立地している下流部の治水安全度の向上を目的に、河道掘削を実施しています。

今年度の事業内容

- ・河道掘削



河道掘削箇所（高砂他地区）



浚渫土砂の活用による海の貧栄養化対策（鹿ノ瀬）

だいもん

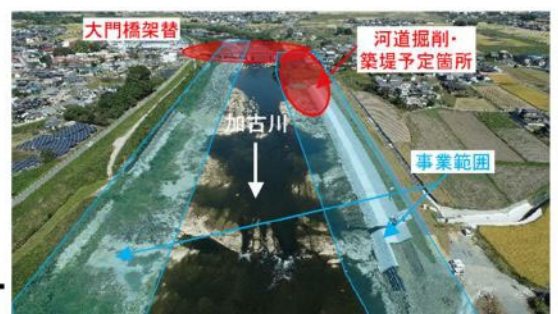
■大門地区（小野市、加東市）

事業の概要

大門地区は加古川中上流部に残る無堤地区であり平成16年10月の台風第23号洪水により浸水被害が発生しました。そのため、台風第23号洪水の再度災害防止を目標として、河道掘削・築堤・橋梁架替を実施しています。

今年度の事業内容

- ・大門橋架替
- ・築堤
- ・用地取得
- ・河道掘削



河道掘削・築堤・橋梁架替箇所（大門地区）



築堤等実施状況(大門地区)(令和6年1月時点)

たきの
■滝野地区（加東市）

事業の概要

滝野地区は加古川中上流部に残る無堤地区であり、平成 16 年 10 月の台風第 23 号洪水により浸水被害が発生しました。その後も相次いで浸水被害が発生していることから、平成 29 年度より緊急対策特定区間に位置付け、台風第 23 号洪水の再度災害防止を目標として、河道掘削・築堤等を実施しています。



河道掘削・築堤箇所（滝野地区）

今年度の事業内容

- ・河道掘削
- ・用地取得
- ・低水護岸



築堤等実施状況（滝野地区）（令和 6 年 1 月時点）

■事業箇所図（加古川）



気候変動を踏まえた計画へ見直し

○治水計画を、「過去の降雨実績に基づく計画」から
「気候変動による降雨量の増加などを考慮した計画」に見直し

これまで

洪水、内水氾濫、土砂災害、高潮・高波等を防御する計画は、
これまで、過去の降雨、潮位などに基づいて作成してきた。

しかし、
気候変動の影響による降雨量の増大、海面水位の上昇などを考慮すると
現在の計画の整備完了時点では、実質的な安全度が確保できないおそれ

気候変動による降雨量の増加※、潮位の上昇などを考慮したものに計画を見直し

※ 世界の平均気温の上昇を2度に抑えるシナリオ（パリ協定が目標としているもの）

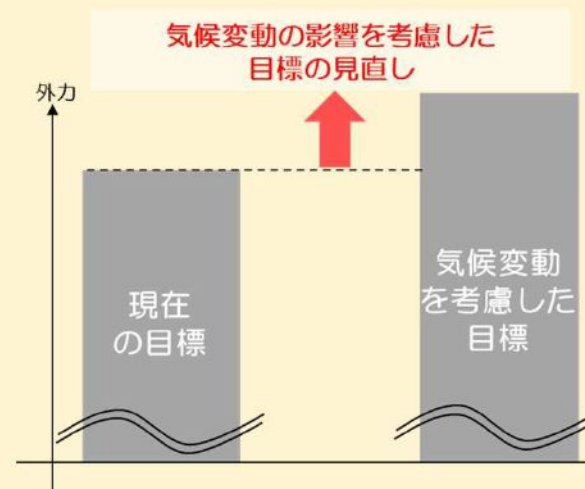
気候変動 シナリオ	降雨量 (河川整備の基本とする洪水規模(1/100等))
2℃上昇相当	約1.1倍



降雨量が約1.1倍となった場合

全国の平均的な 傾向【試算結果】	流量	洪水発生頻度
	約1.2倍	約2倍

※ 流量変化倍率及び洪水発生頻度の変化倍率は、一級水系の河川整備の基本とする洪水規模（1/100～1/200）の降雨に降雨量変化倍率を乗じた場合と乗じない場合で算定した、現在と将来の変化倍率の全国平均値



過去の主な洪水と被害の状況

加古川水系

- 大正7年に直轄河川改修に着手。昭和42年に一級水系に指定され、同年、既定計画を踏襲した工事実施基本計画を策定。その後、昭和20年10月等の出水及び流域内の開発状況に鑑み、昭和57年に計画規模を1/150とする工事実施基本計画に改定。
- 大臣管理区間では平成16年台風第23号で被害の大きかった地区の河道掘削事業や築堤等を実施している。

主な洪水と治水計画

明治40年8月 洪水(台風)	国包地点流量:不明 死者:7名、家屋流出:83戸、浸水家屋:2,999戸
大正7年	内務省直轄の加古川改修工事に着手 計画高水流量:4,450m ³ /s(国包)
大正10年9月 洪水(台風)	国包地点流量:不明 死者:6名
昭和8年	加古川改修工事を完了
昭和16年	兵庫県による加古川中小河川改修工事 計画高水流量:4,450m ³ /s(国包)
昭和20年10月 洪水(阿久根台風)	国包地点流量:7,800m ³ /s～9,050m ³ /s(推定) 浸水家屋:不明
昭和40年9月 洪水(前線)	国包地点流量:3,600m ³ /s 床上:651戸、床下:2,730戸
昭和42年	一級水系指定・工事実施基本計画の策定 基本高水のピーク流量:4,450m ³ /s(国包) 計画高水流量:4,450m ³ /s(国包)
昭和45年6月 洪水(梅雨前線)	国包地点流量:2,500m ³ /s 床上:9戸、床下:25戸
昭和51年9月 洪水(台風第17号 及び秋雨前線)	国包地点流量:3,000m ³ /s 床上:143戸、床下:1,657戸
昭和56年	加古川大堰の建設に着手(平成元年完成)
昭和57年	工事実施基本計画改定(1/150) 基本高水のピーク流量:9,000m ³ /s(国包) 計画高水流量:7,400m ³ /s(国包)
昭和58年9月 洪水(秋雨前線)	国包地点流量:5,000m ³ /s 床上:368戸、床下:1,666戸
平成16年10月 洪水(台風第23号)	国包地点流量:5,700m ³ /s 床上:430戸、床下:1,222戸
平成16年	加古川激甚災害対策特別緊急事業(兵庫県)
平成20年	加古川水系河川整備基本方針策定(1/150) 基本高水のピーク流量:9,000m ³ /s(国包) 計画高水流量:7,400m ³ /s(国包)
平成23年	加古川水系河川整備計画策定 整備計画目標流量:5,700m ³ /s(国包)
平成25年9月 洪水(台風第18号)	国包地点流量:5,500m ³ /s 浸水家屋:5戸
平成30年7月 洪水(梅雨前線)	国包地点流量:4,600m ³ /s 浸水家屋12戸

主な洪水被害

【昭和40年9月 洪水】

2日雨量が209mmに達し、流域全域に甚大な被害が発生



遠阪川からの溢水(丹波市)

【昭和51年9月 洪水】

2日雨量が192mmに達し、時間雨量20～30mmの強雨が上流部で発生し、水位が急上昇



市街地の浸水(高砂市)

【昭和58年9月 洪水】

2日雨量が225mmに達し、中流部で浸水被害が発生



西脇市街地の浸水(西脇市)



関電灘(加東市)

【平成16年10月台風第23号】

2日雨量が217mmに達し、戦後最大の流量が発生
特に、中流部では溢水により大規模な浸水被害が発生



関電灘付近(加東市)

【平成25年9月台風第18号】

2日雨量が207mmに達し、加東市を中心に浸水被害が発生



滝野地区の浸水(加東市)



内水による浸水(西脇市)

【平成30年7月洪水】

2日雨量が268mmに達し、加東市にある河高地区や滝野地区において溢水により浸水被害が発生



滝野地区の浸水(加東市)

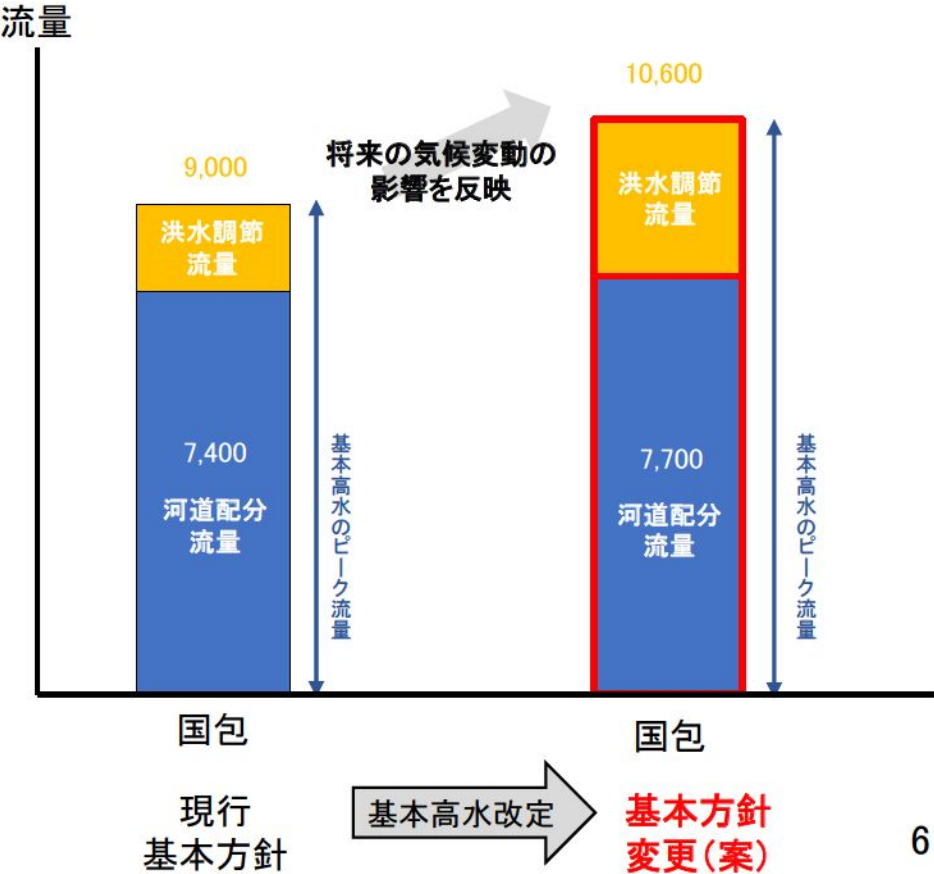
河道と洪水調節施設等の配分流量

加古川水系

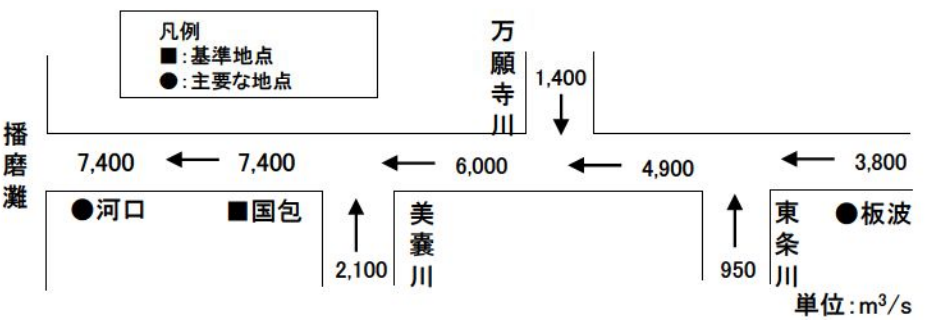
○ 気候変動による降雨量の増加等を考慮し設定した基本高水のピーク流量10,600m³/s(国包基準地点)を、洪水調節施設等により調節し、河道への配分流量を7,700m³/s(国包基準地点)とする。

＜河道と洪水調節施設等の配分流量＞

洪水調節施設等による調節流量については、流域の土地利用や雨水の貯留・保水遊水機能の今後の具体的取り組み状況を踏まえ、基準地点のみならず流域全体の治水安全度向上のため、具体的な施設配置等を今後検討していく。

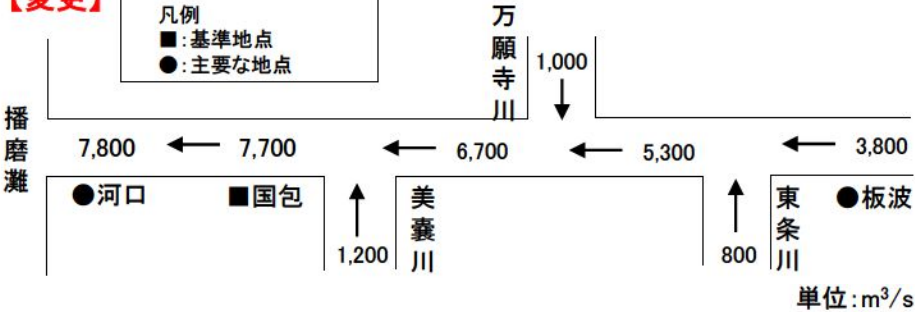


【現行】＜加古川計画高水流量図＞



	基本高水のピーク流量 (m³/s)	洪水調節施設による調節流量 (m³/s)	河道への配分流量 (m³/s)
国包	9,000	1,600	7,400

【変更】

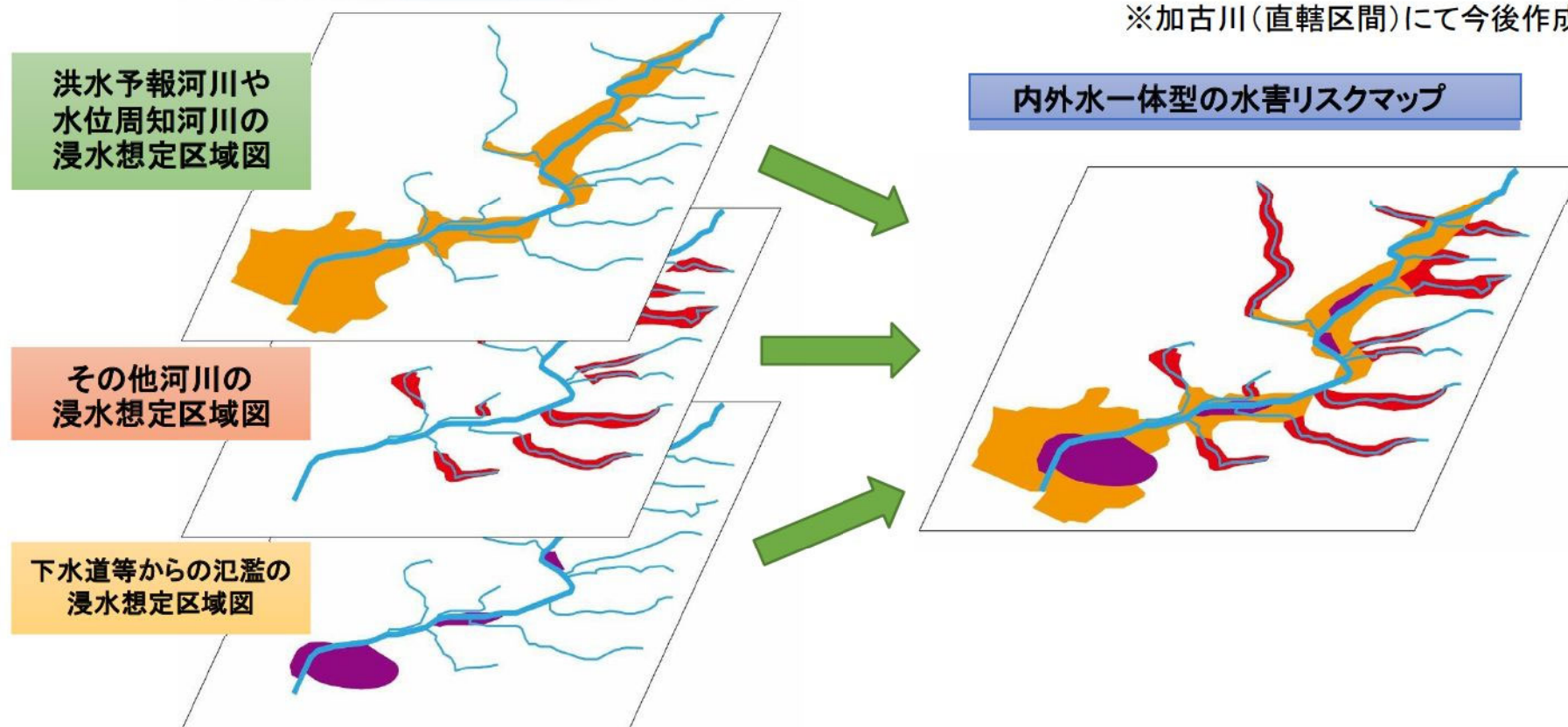


	基本高水のピーク流量 (m³/s)	洪水調節施設等による調節流量 (m³/s)	河道への配分流量 (m³/s)
国包	10,600	2,900	7,700

内外水一体型の水害リスクマップ^o

- 洪水予報河川や水位周知河川のみならず、その他河川や下水道等からの氾濫を明らかにすることで、**水害リスク情報の空白地の解消が重要**。
- 現在管理者別に作成・提供されている浸水ハザード情報図について、**洪水予報河川や水位周知河川の氾濫、その他河川の氾濫(外水氾濫)、下水道等からの氾濫(内水氾濫)を重ね合わせて表示**。

内外水一体型の水害リスクマップ作成

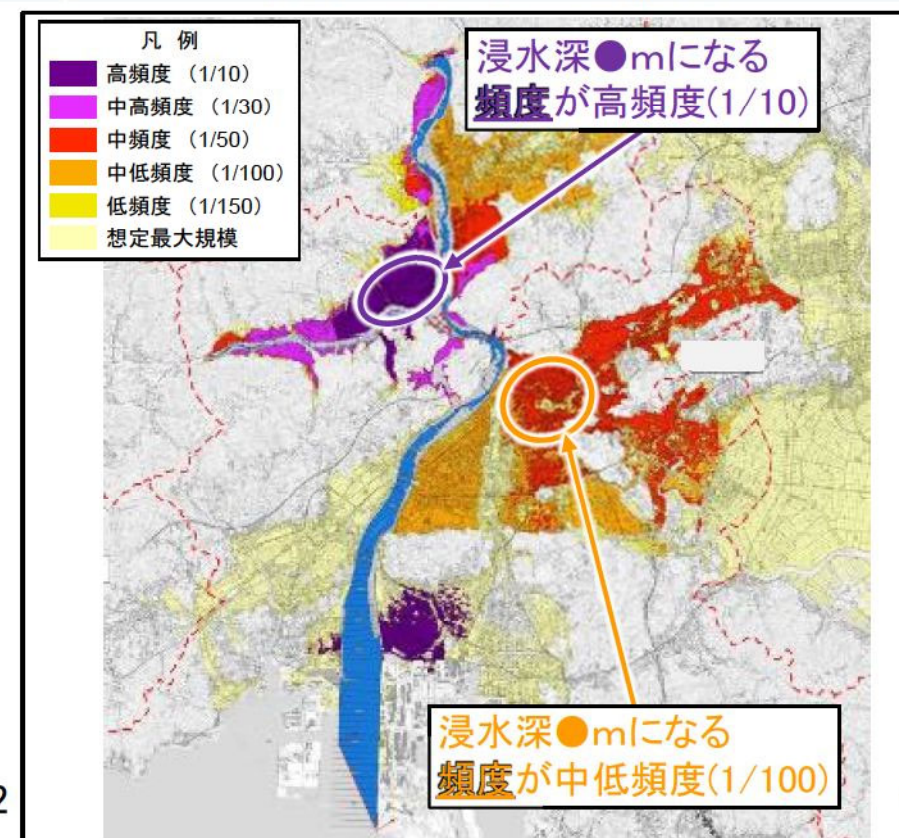
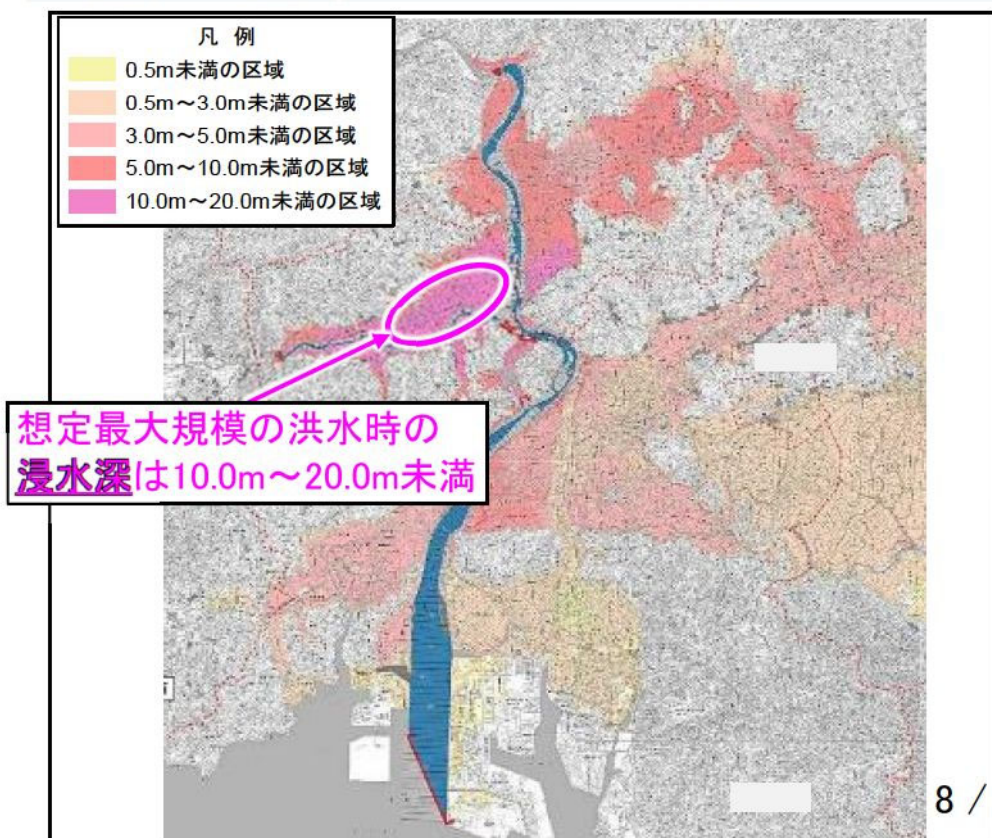


※加古川(直轄区間)にて今後作成予定

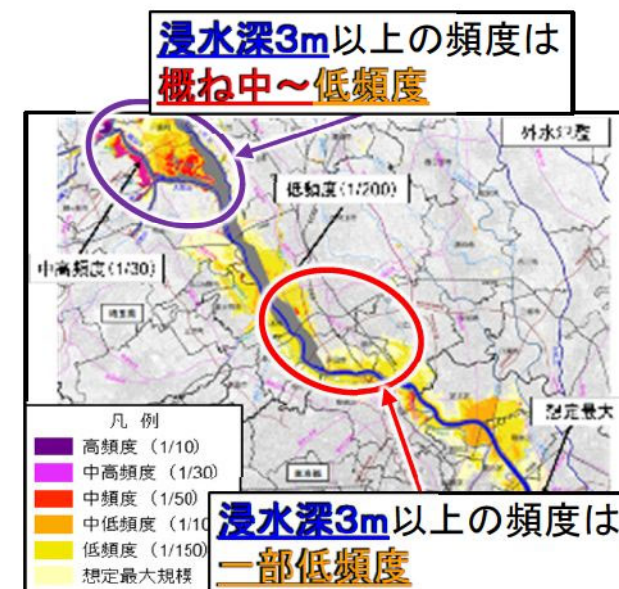
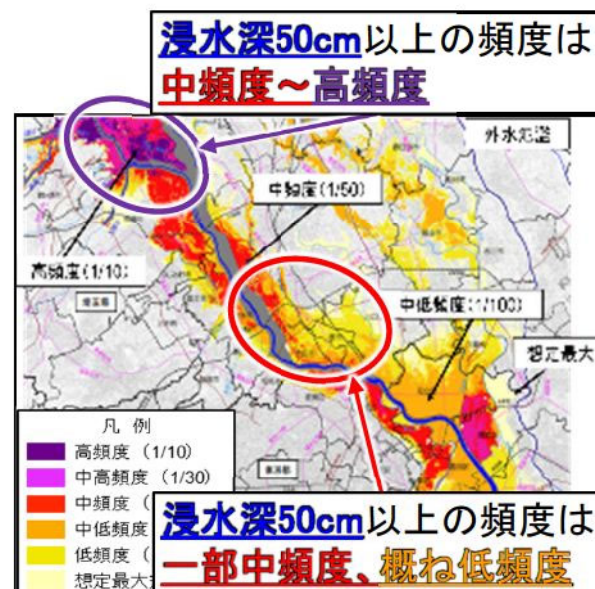
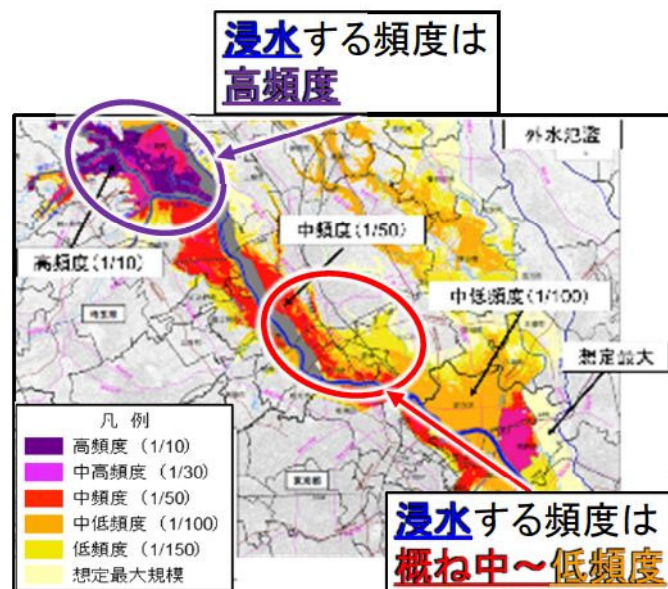
内外水一体型の水害リスクマップ(概念図)

洪水浸水想定区域図と水害リスクマップの違い

	洪水浸水想定区域図	水害リスクマップ (浸水頻度図)
表す情報	浸水範囲、浸水深 (m)	浸水範囲、浸水頻度 (〇〇年に1度程度)
主な用途	避難行動	防災まちづくり、企業立地選択等
降雨条件	想定される最大規模の降雨	発生頻度の異なる降雨
河道の時点	現在	現在及び河川整備後



水害リスクマップ^①（見方・活用事例）



3つの図を並べて見比べる

⇒ **【土地利用や住まい方の工夫に利用する場合】**

居住スペースや1階をピロティ構造にするなど、建築構造の参考にするなどの活用が考えられます。

⇒ **【企業立地選択等に利用する場合】**

浸水頻度の高い場所への施設の立地を避けるほか、浸水確率を踏まえて事業継続に必要な資機材を2階以上に移動する、止水壁を設置するといった対策の検討に活用することが考えられます。

⇒ **【水災害リスクを踏まえたまちづくり・避難所設置に利用する場合】**

立地適正化計画における防災指針の検討・作成への活用などが考えられます。

水害リスクマップ^①（加古川 作成状況）

- 令和3年度に検討した現況河道における水害リスクマップを令和4年12月に公表。
さらに、令和4年度は短期・中期・長期河道における外水氾濫の水害リスクマップを作成し公表。
- **令和5年度以降は、内水氾濫及び内外水統合の水害リスクマップの作成を進め、令和7年度末の公表を目指す。**

多段階の浸水想定図及び水害リスクマップ作成状況

河道条件		作成状況	公表予定
外水氾濫	現況	済	R4.12 公表済※
	短期	済	R5.3 公表済※
	中期		
	長期		
内水氾濫	現況	今後作成	R7末 公表
内外水統合	現況		

※姫路河川国道事務所HPにて公表

《水害リスクマップ》

✓ 姫路河川国道事務所ホームページで公表中。

※内水氾濫、内外水統合を除く

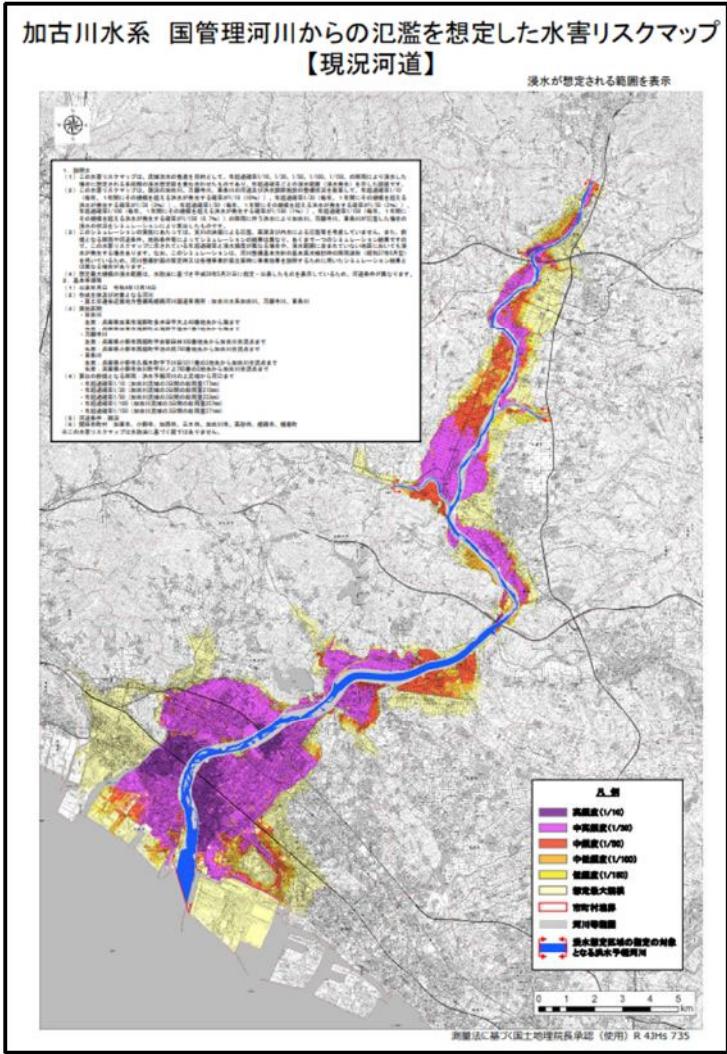


国土交通省近畿地方整備局
姫路河川国道事務所



多段階の浸水想定図・水害リスクマップ | 国土交通省姫路河川国道事務所 (mlit.go.jp)

加古川水系 水害リスクマップ



■加古川減災対策協議会の取組目標(R3～R7)

2024年2月28日 版

【凡例】○:取組対象
●:実施中・実施済み
●:今年度実施、新規追

【関連法(取り組み義務がある項目を記載)】
①:河川法 ②:水防法 ③:災害対策基本法

※気:気象情報提供者、河管:河川管理者

加古川減災対策協議会
加古川水系流域治水協議会
資料1

項目	取組機関										関連法	備考
	気※		河管※		流域関係機関							
	気象庁	姫路河川	兵庫県	加古川市	高砂市	小野市	加東市	鉄道事業者				
1)ハード対策の主な取組												
洪水を河川内で安全に流す対策												
1	堤防整備	－	●	－	－	－	－	－	－	①		
2	河道掘削	－	●	－	－	－	－	－	－	①		
3	質的対策(堤防の浸透、侵食、洗掘対策)	－	●	－	－	－	－	－	－	①		
水防活動に資する基盤等の整備												
4	水防拠点となる施設の整備検討	－	●	－	－	－	●	－	－	②		
流域における対策												
5	集水域や氾濫域での対策	－	－	○	○	○	●	●	－	－	流域におけるハード対策として、集水域や氾濫域での対策を加速させ、減災対策協議会で取組事例を他機関と共有する。	
2)ソフト対策の主な取り組み ①意識変革、防災意識の継承・再構築、情報伝達に関する取り組み												
想定される浸水リスクの周知												
6	想定最大規模洪水を対象とした洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの周知	－	●	●	－	－	－	－	－	②		
7	地域住民及び学校等への水災害教育の実施	－	●	－	●	●	●	●	－	③		
8	住民の危機意識向上のための施策等を検討改善	－	●	－	●	○	○	○	●	－		
9	想定最大規模洪水を対象とした浸水CGの作成・活用	－	●	●	●	●	●	●	○	－		
10	想定最大規模洪水を加味した洪水ハザードマップの更新・周知	－	●	●	●	●	●	●	●	－		
11	水害リスク空白域の解消	－	－	●	●	○	○	○	－	－	洪水予報河川及び水位周知河川以外の法河川における浸水想定区域を指定する。各市は浸水想定区域をハザードマップに反映する。	
避難勧告等の発令について												
12	タイムライン(案)の検証、及び改善に向けた検討	●	●	●	●	●	●	●	●	－		
13	避難判断水位、氾濫危険水位等の検証及び見直し	－	○	○	○	○	○	○	－	②		
避難場所、避難経路について												
14	広域避難も含めた、避難場所及び避難経路の更新	－	○	○	○	○	○	○	○	●	②	
15	地域防災計画の更新	－	●	●	●	●	●	●	●	－	②	
16	民間施設等を活用した緊急的な避難先の検討	－	－	○	○	○	○	○	－	－	民間事業者等と災害時の応援協定を締結して、民間施設等を指定緊急避難場所として活用することを検討する。	
住民等への情報伝達の体制や方法について												
17	協議会参加機関のホームページ等を活用した、浸水想定区域や避難行動に係る情報等の提供	●	●	●	●	○	●	●	●	－		
18	発表対象区域や避難の切迫性等が住民に伝わる洪水予報文、伝達手法の検討・周知	●	●	－	●	●	●	●	－	②		
19	避難情報提供ツールの整備及び住民への周知	－	●	－	●	●	●	●	●	－		
20	リアルタイム洪水情報の活用及び住民への周知	●	●	－	●	●	●	●	●	－	「川の防災情報」等、国や県が有している水位やカメラ映像等のリアルタイム情報の取得方法を住民に周知する。	
21	スマートフォン等を活用したプッシュ型情報の発信・普及	●	●	－	●	●	●	●	－	－		
22	外国語に対応した情報提供の実施	●	●	－	●	●	●	●	－	③		
避難誘導体制について												
23	「自主防災組織で避難誘導にあたる人材」・「自主避難できる住民」の育成(防災リーダー等)	－	●	－	●	●	●	●	－	－		
24	避難行動要支援者に対する、避難方法等の個別計画の作成	－	●	－	●	●	●	●	－	③		
25	避難行動要支援者に係る地域の共助力の向上	－	●	－	●	○	●	●	－	－		
26	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進	－	●	－	●	●	●	●	－	②	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進及び避難訓練の実施について、独立した項目として追加	
避難に関する啓発活動について												
27	水害を想定した避難訓練、避難所運営訓練の実施	－	●	－	●	●	●	●	－	－		
28	想定最大規模洪水又は計画規模洪水を対象としたマイ防災マップ等の更新、作成	－	●	－	●	●	●	●	－	－		
29	関係機関と協力・連携した普及啓発活動(出前講座等)の実施	●	●	－	●	●	●	●	○	－		
2)ソフト対策の主な取り組み ②氾濫時に人命と財産を守る水防活動の強化に関する取り組み												
水防体制												
30	若年層の消防団加入促進を図る普及啓発活動を実施	－	○	－	○	●	●	●	●	－		
31	重要水防箇所を姫路河川国道事務所ホームページ等で公表	－	●	●	－	－	－	－	－	－		
32	関係者による重要水防箇所等の共同点検を実施	－	●	●	●	●	●	●	－	－		
33	溜め池の決壊や内水氾濫、想定最大規模洪水等を踏まえた避難体制の整備	－	－	○	○	○	○	○	－	－		
河川水位等に係る情報の提供												
34	洪水時のカメラ・水位計による堤防監視、施設監視の強化	－	●	●	●	－	●	－	●	－		
35	河川管理者による水位予測情報の提供	－	●	●	●	○	○	○	●	－		
水防資機材の整備状況												
36	水防倉庫等の配置計画を再検討	－	●	○	●	○	●	●	－	②		
37	水防資機材の備蓄状況について、自治体に情報提供を実施	－	○	●	○	○	○	○	－	－		
2)ソフト対策の主な取り組み ③一刻も早く日常生活を回復するための取り組み												
氾濫水の排水												
38	氾濫水を迅速かつ的確に排水するための排水計画の見直し	－	○	－	○	○	○	○	－	－		
39	排水計画に基づく排水訓練、及び関係機関との合同訓練の実施	－	○	－	○	○	○	○	－	－		

流域タイムラインとは

- 流域タイムラインとは、河川事務所等が、その管理する河川の流域を対象に、**河川・気象情報**をもとに発表する**洪水予報**など、**自らの基本的な防災行動を時系列で確認**するとともに、**災害後の振り返りに用いる**ことを目的とするもの。

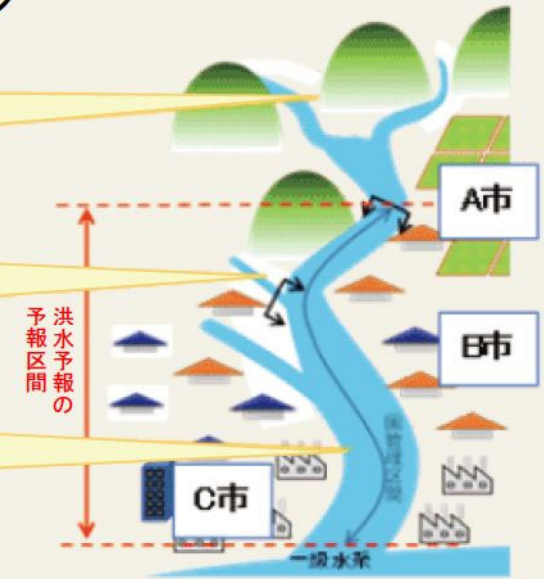
■ 流域タイムラインのイメージ

流域平均の雨量の実況や予測から数日前から警戒感を高める
(気象台)

支川等の氾濫のおそれ、土砂災害の危険性について共有
(気象台・都道府県河川・砂防部局)

※加古川では今回対象外

河川水位の実況や予測から氾濫のおそれを共有
(河川事務所・気象台)



出典:「国土交通省白書2022」より抜粋・加筆

「流域タイムライン」の活用や見直し

- 毎年出水期前を基本として**関係機関と確認**
- 洪水対応に関する**演習・訓練への活用**(職員が流域タイムラインの内容を把握)
- **災害時の活用**/災害後の**振り返りや見直し**
- 減災対策協議会等での**議論・認識共有**

(加古川水系)流域タイムライン (案)

河川	神戸気象台・水象情報	姫路河川国道事務所
注2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 台風予報 ○ 台風に関する兵庫県気象情報 (随時) ○ 早期注意情報 ○ 台風説明会 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 洪水予報 (氾濫警戒情報) ○ 緊急WEB会議 ○ 協定業者との連絡調整 (出勤準備) ○ 水閘門操作員の退避検討 ○ ホットライン (水位情報、現象の予測) ○ 雨量・水位情報の発表 ○ 水防警報の発表

加古川水系流域タイムライン (案)

加古川水系流域タイムライン (案)

加古川流域タイムラインの作成と「緊急WEB会議」の実施

令和3年度

■ 減災対策協議会にて、
「多機関連携型タイムライン」を作成。

■ 参加機関(減災対策協議会構成機関)

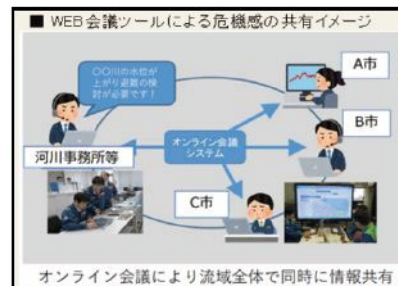
- 姫路河川国道事務所
- 神戸地方気象台
- 兵庫県
- 加古川市
- 高砂市
- 小野市
- 加東市
- 西日本旅客鉄道(株)
- 山陽電気鉄道(株)
- 神戸電鉄(株)
- 北条鉄道(株)
- 神戸電鉄(株)
- 北条鉄道(株)

令和5年度

➢ 令和3年度に作成した「多機関連携型タイムライン」をベースに、ホットラインのタイミングや緊急WEB会議等を付与した、「流域タイムライン(案)」を作成。

➢ 減災対策協議会(R5.3.6)で関係機関へ確認し、「流域タイムライン」として確定。

➢ 台風接近時等に危機感を共有するため、状況に応じて「緊急WEB会議」の開催。水位見通しや、今後の降雨予測、台風進路、自治体の水防体制の見通し等を共有。



出典:「国土交通省白書2022」より抜粋

WEB会議ツールによる危機感共有のイメージ

多機関連携型タイムライン

「多機関連携型タイムライン」に

- ・各市の取組(自治体全体の取組を市ごとに細分化)
- ・ホットライン・洪水予報/水防警報
- ・水位到達情報・WEB会議のタイミング 等

を追加

流域タイムライン

マイ・タイムライン作成講座の開催

- マイ・タイムラインは住民一人ひとりのタイムラインであり、台風の接近等によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、とりまとめるもの。
- 時間的な制約が厳しい洪水発生時に、行動のチェックリストとして、また避難判断のサポートツールとして活用されることで、「逃げ遅れゼロ」に向けた効果が期待されている。
- 姫路河川国道事務所では、**加東市の一般の方向けにマイ・タイムライン作成講座を開催。**

○加東市の一般の方向けにマイ・タイムライン作成講座を開催

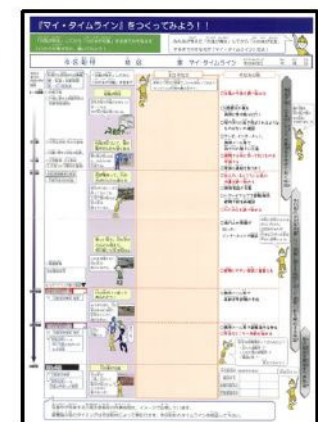
- 日 時: 令和6年3月10日(日) 10:30～12:30
- 場 所: 加東市滝野図書館 3F会議室
- 参加者: 18人



マイ・タイムライン作成の様子



気象予報士 澤麻美氏による説明



取組を実施した効果、成果

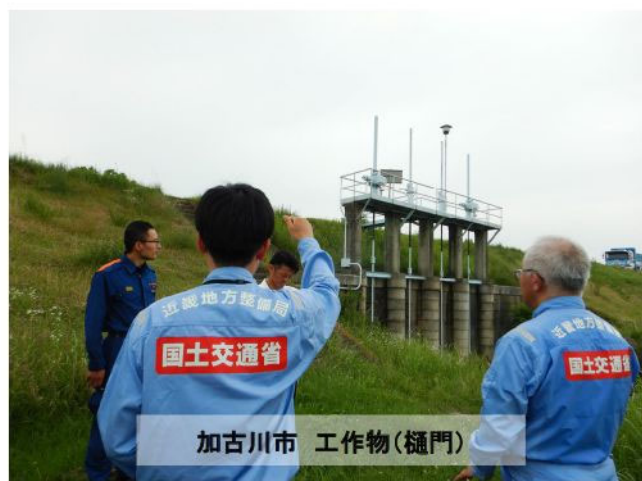
- ◆ 水害時の避難行動を理解し、命を守る行動のために、**マイ・タイムライン**を事前に作成することが有効であると、住民の理解を深めることができた。

重要水防箇所の合同点検の実施

○姫路河川国道事務所では、越水・溢水や漏水等の洪水時の被害発生が予想され、**水防活動が必要とされる箇所**について、重要水防箇所評定基準の見方、被害発生要因、対策工法を確認し、洪水時の注意点について、現地の状況を関係機関と確認する**合同点検**を実施。

○重要水防箇所合同点検の実施

- 日 時:令和 6 年 6 月 20 日(木)
- 場 所:加古川、万願寺川
- 参加者:加古川市、高砂市、加東市、小野市



取組を実施した効果、成果

- ◆ 具体的な水防活動内容とともに現地を確認することで、出水時の対応について共通認識を持つことができた。
- ◆ 来年度以降も継続実施することで、知識の引継ぎを行う。

特定都市河川の指定等の状況(令和6年12月24日時点)

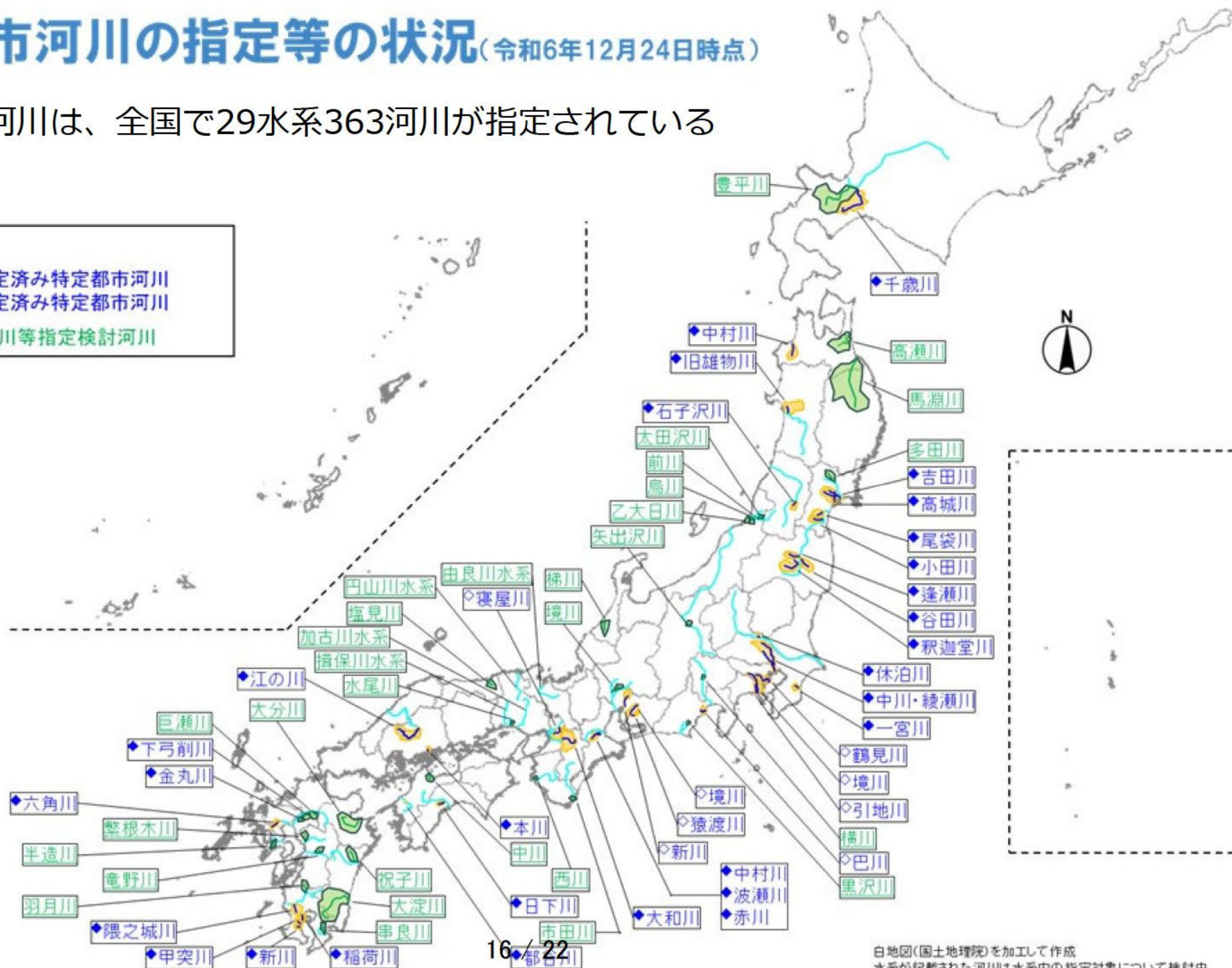
特定都市河川は、全国で29水系363河川が指定されている

【凡例】

◇：法改正前 指定済み特定都市河川

◆：法改正後 指定済み特定都市河川

下線：特定都市河川等指定検討河川



特定都市河川の指定を検討している河川の情報

(令和6年12月24日時点)

No.	水系名	河川種別	代表河川名	予定指定 河川数	流域 都道府県	予定流域 市町村数	指定者	特定都市河川 指定予定時期	流域水害対策計画 策定予定時期	問い合わせ先
1	石狩川	一級	とよひらがわ 豊平川	約30	北海道	約3	大臣	検討中	指定後 速やかに策定	北海道開発局 流域治水推進室 電話（代表）：011-709-2311
2	馬淵川	一級	まへちがわ 馬淵川	9	岩手県	4	知事	R7年度中	R8年度中	東北地方整備局 流域治水推進室 電話（代表）：022-225-2171
3	鳴瀬川	一級	ただがわ 多田川	約7	宮城県	2	大臣	検討中	検討中	
4	高瀬川	一級	たかせがわ 高瀬川	1	青森県	7	大臣	R9年度中	指定後 速やかに策定	
5	富士川	一級	よこがわ 横川	5	山梨県	2	知事	R7年度中	指定後 速やかに策定	関東地方整備局 流域治水推進室 電話（代表）：048-601-3151（地域河川課）
6	信濃川	一級	やまがわ 矢出沢川	2	長野県	1	知事	R7年度中	指定後 速やかに策定	
7	荒川	一級	からすがわ 烏川	4	新潟県	2	知事	R6年度中	R7年度中	
8	荒川	一級	まいかわ 前川	1	新潟県	1	知事	R6年度中	R7年度中	北陸地方整備局 流域治水推進室 電話（代表）：025-280-8958（河川計画課）
9	荒川	一級	おおたぎわ 太田沢川	1	新潟県	1	知事	R6年度中	R7年度中	
10	荒川	一級	きふとだいにがわ 乙大日川	3	新潟県	2	知事	検討中	検討中	
11	梯川	一級	かけはしがわ 梯川	13	石川県	3	大臣	R9年度まで	指定後 速やかに策定	
12	木曽川	一級	さかいがわ 境川	2	岐阜県	5	知事	検討中	指定後 速やかに策定	中部地方整備局 流域治水推進室 電話（代表）：052-953-8146
13	菊川	一級	くろさわがわ 黒沢川	1	静岡県	1	大臣	R6年度中	R7年度中	
14	由良川	一級	検 討 中	検 討 中	京都府 兵庫県	検 討 中	検 討 中	検 討 中	検 討 中	
15	加古川	一級	検 討 中	検 討 中	兵庫県	検 討 中	大臣	R8年度中	指定後 速やかに策定	近畿地方整備局 流域治水推進室 電話（代表）：06-6945-6355
16	摂保川	一級	検 討 中	検 討 中	兵庫県	検 討 中	検 討 中	R10年度中	指定後 速やかに策定	
17	円山川	一級	検 討 中	検 討 中	兵庫県	検 討 中	検 討 中	R8年度中	R9年度中	
18	夢前川	二級	みずおがわ 水尾川	1	兵庫県	1	知事	R8年度中	指定後 速やかに策定	
19	新宮川	一級	いちだかわ 市田川	約2	和歌山県	約1	大臣	検討中	検討中	
20	日高川	二級	にしかわ 西川	19	和歌山県	4	知事	R6年度中	指定後 速やかに策定	
21	塩見川	二級	しおみがわ 塩見川	6	鳥取県	1	知事	R7年度中	検討中	中国地方整備局 流域治水推進室 電話（代表）：082-221-9231（代表）
22	中川	二級	なかがわ 中川	2	愛媛県	2	知事	R7年度中	指定後 速やかに策定	四国地方整備局 流域治水推進室 電話（代表）：087-851-8061

※ 上表は当面5年間（R5年度～R9年度）での特定都市河川指定を検討する河川を記載しています。

※ 特定都市河川指定の予定や、河川数、市町村数、指定年月等の各項目は、関係機関との調整等により変更することがあります。

特定都市河川の指定を検討している河川の情報

(令和6年12月24日時点)

No.	水系名	河川種別	代表河川名	予定指定 河川数	流域 都道府県	予定流域 市町村数	指定者	特定都市河川 指定予定時期	流域水害対策計画 策定予定時期	問い合わせ先
23	筑後川	一級	こせがわ 巨瀬川	検討中	福岡県	検討中	大臣	検討中	指定後 速やかに策定	九州地方整備局 流域治水推進室 電話(代表) : 092-471-6331
24	本明川	一級	はんぞうがわ 半造川	検討中	長崎県	検討中	大臣	検討中	指定後 速やかに策定	
25	菊池川	一級	はねぎがわ 繁根木川	検討中	熊本県	検討中	大臣	検討中	指定後 速やかに策定	
26	緑川	一級	たつのがわ 亀野川	検討中	熊本県	検討中	知事	R6年度中	指定後 速やかに策定	
27	大分川	一級	おおいたがわ 大分川	検討中	大分県	検討中	大臣	検討中	指定後 速やかに策定	
28	五ヶ瀬川	一級	ほうりがわ 祝子川	検討中	宮崎県	検討中	大臣	検討中	指定後 速やかに策定	
29	大淀川	一級	おおよどがわ 大淀川	検討中	宮崎県 鹿児島県	検討中	大臣	検討中	指定後 速やかに策定	
30	川内川	一級	はつきがわ 羽月川	検討中	宮崎県 鹿児島県	検討中	大臣	検討中	指定後 速やかに策定	
31	肝属川	一級	くしらがわ 串良川	検討中	鹿児島県	検討中	大臣	検討中	指定後 速やかに策定	

※ 上表は当面5年間(R5年度～R9年度)での特定都市河川指定を検討する河川を記載しています。

※ 特定都市河川指定の予定や、河川数、市町村数、指定年月等の各項目は、関係機関との調整等により変更することがあります。

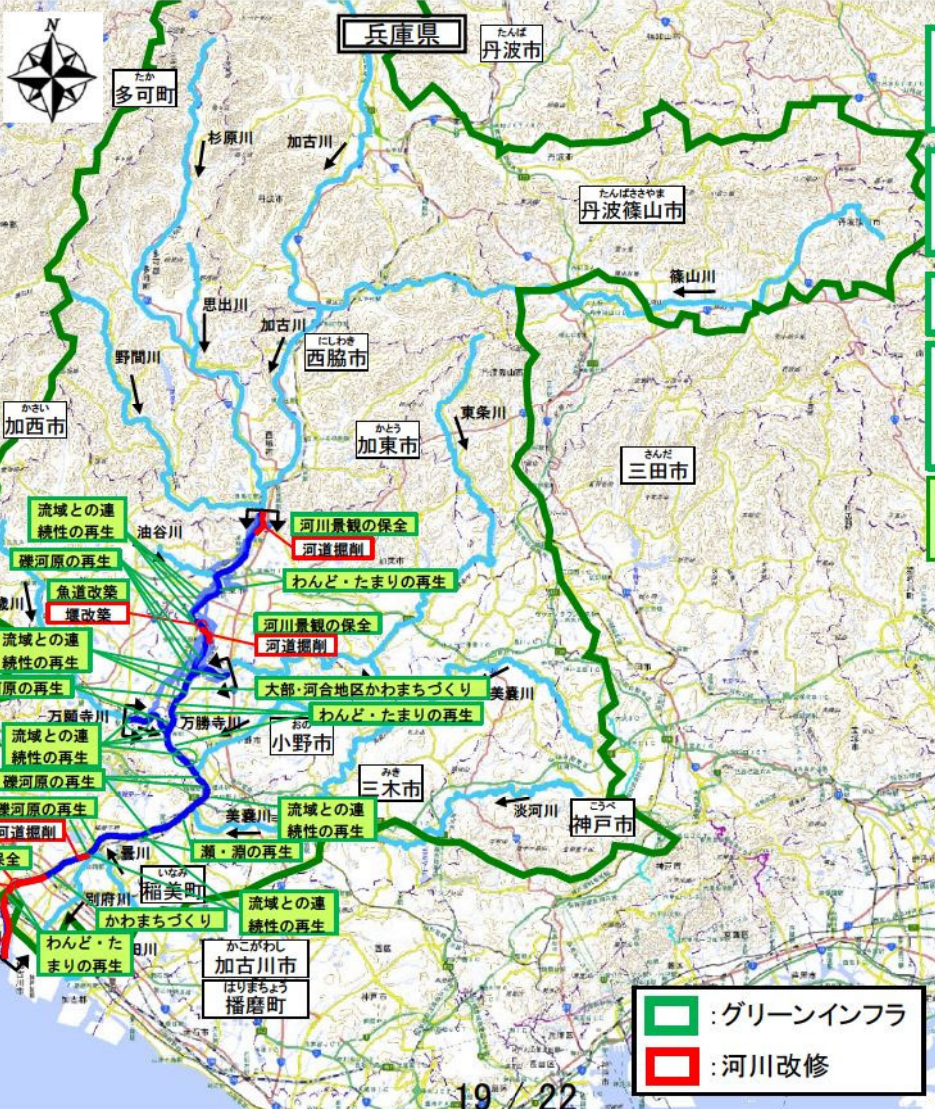
加古川水系流域治水プロジェクト 【位置図】

～県下最大流域における伝統産業・文化、暮らしを守る治水対策を推進～

●グリーンインフラの取り組み 『河川改修事業と連携した河口干潟・河原植物生育環境の再生』

- 加古川は、中流部に砂礫河原が広がり、下流部では堰付近に淵やわんど・たまり等も見られ、河口部には干潟が発達するなど多様な動植物の生息場所となっている。特に中流部・下流部では環境省レッドリストの準絶滅危惧(NT)種フジバカマが見られるほか、河口干潟にはハクセンシオマネキ等希少な動植物が多く生息している。
- 加古川においては、今後概ね15年間で河川改修事業（河道掘削）と連携して河口部における干潟環境を保全していくほか、河原植物の生育環境である礫河原の再生の取り組みを進めるなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。

- 凡 例
- 河道掘削
 - 堤防整備
 - 事前放流対象ダム
 - 浸水範囲(平成16年台風23号
国管理区間における氾濫解析結果)
 - 大臣管理区間
対象区域



- 自然環境の保全・復元などの自然再生
 - ・瀬・淵の再生
 - ・わんど・たまりの再生
 - ・礫河原の再生
 - ・流域(堤内地)との連続性の再生

- 治水対策における多自然川づくり
 - ・中流部の河川改修工事に伴う河川景観の保全
 - ・シロウオ産卵場、河口干潟に配慮した河道掘削
 - ・堰改築に伴う魚道改築

- 魅力ある水辺空間・賑わい創出
 - ・大部・河合地区かわまちづくり

- 自然環境が有する多様な機能活用の取組み
 - ・地域と連携・協働したフジバカマの移植活動
 - ・堤防除草の刈草を堆肥化し地域住民へ無償配布
 - ・河道内樹木の伐採による発生材をバイオマス発電利用者へ無償提供
 - ・加古川全域における小学校などでの河川環境学習(水生生物調査)

- 【全域に係る取組】
 - ・地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援



住民参加によるフジバカマの移植



ヨシ原に囲まれた河口部干潟



小学校での環境学習



大部・河合地区かわまちづくり計画イメージ

- : グリーンインフラ
- : 河川改修

③ 河川環境整備

○加古川

■礫河原再生（加古川市）

事業の概要

加古川の持つ河川の営力を最大限に活かし、出水による適度な攪乱を受ける環境を取り戻します。また、河原環境を整備することから、河原特有の生物の生息・生育場所の増加にもつながります。大野地区（加古川市）の礫河原の整備を進めています。



礫河原再生箇所(大野地区)

今年度の事業内容

- ・ 礫河原の再生



礫河原整備イメージ

■事業箇所図(加古川)



○加古川

■水辺整備事業（小野市）

事業の概要

「おおべ大部・かわい河合地区かわまちづくり計画」の一環として、高水護岸などを整備し、安全で利用しやすい親水空間を創出し、小野市が実施する「桜つつみ回廊」と併せ、新たな賑わいづくり拠点の創出を目指します。



整備箇所(加古川 24.6k～25.0k 付近)

今年度の事業内容

- ・ 階段護岸（高水護岸）整備



■事業箇所図(加古川)

整備イメージ



○加古川

■水辺整備事業（加古川市）

事業の概要

「加古川市かわまちづくり計画」の一環として、階段護岸・管理用通路などを整備して、加古川駅から歩いていける河川空間を、新たに整備し、周辺施設を巻き込み回遊性ネットワークの形成を目指します。

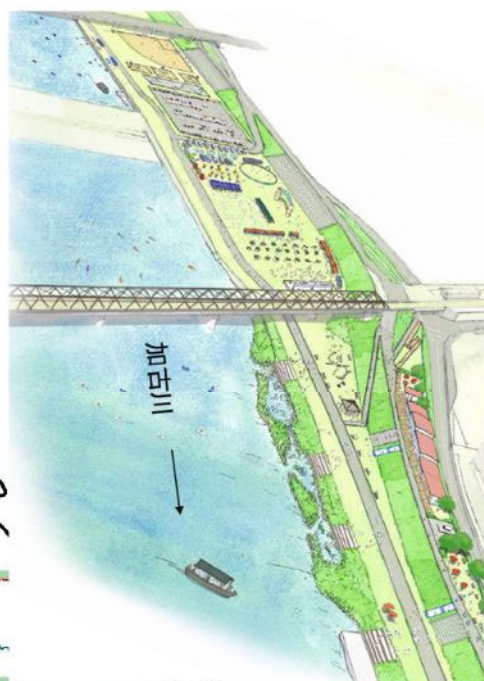


整備箇所(加古川 5.6k~6.4k 左岸付近)

今年度の事業内容

- ・ 高水護岸整備
- ・ 管理用通路

■事業箇所図(加古川)



整備イメージ



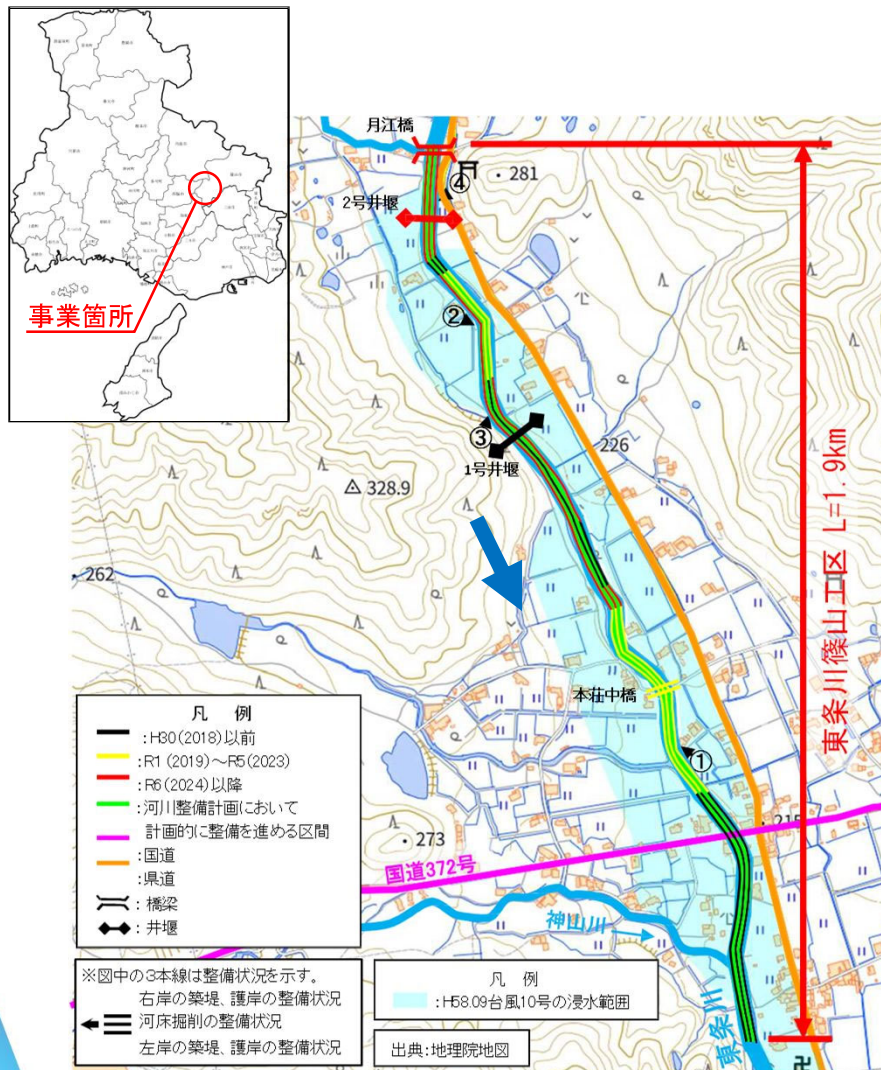
県の取組み (令和6年～令和15年)

河川対策

上流域ブロック（築堤・護岸他）

兵庫県

東条川（丹波篠山市今田町本荘）



完成区間



残事業区間



工程表

— : 実施・計画

種別	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
掘削										
築堤・護岸										
橋梁										
井堰										

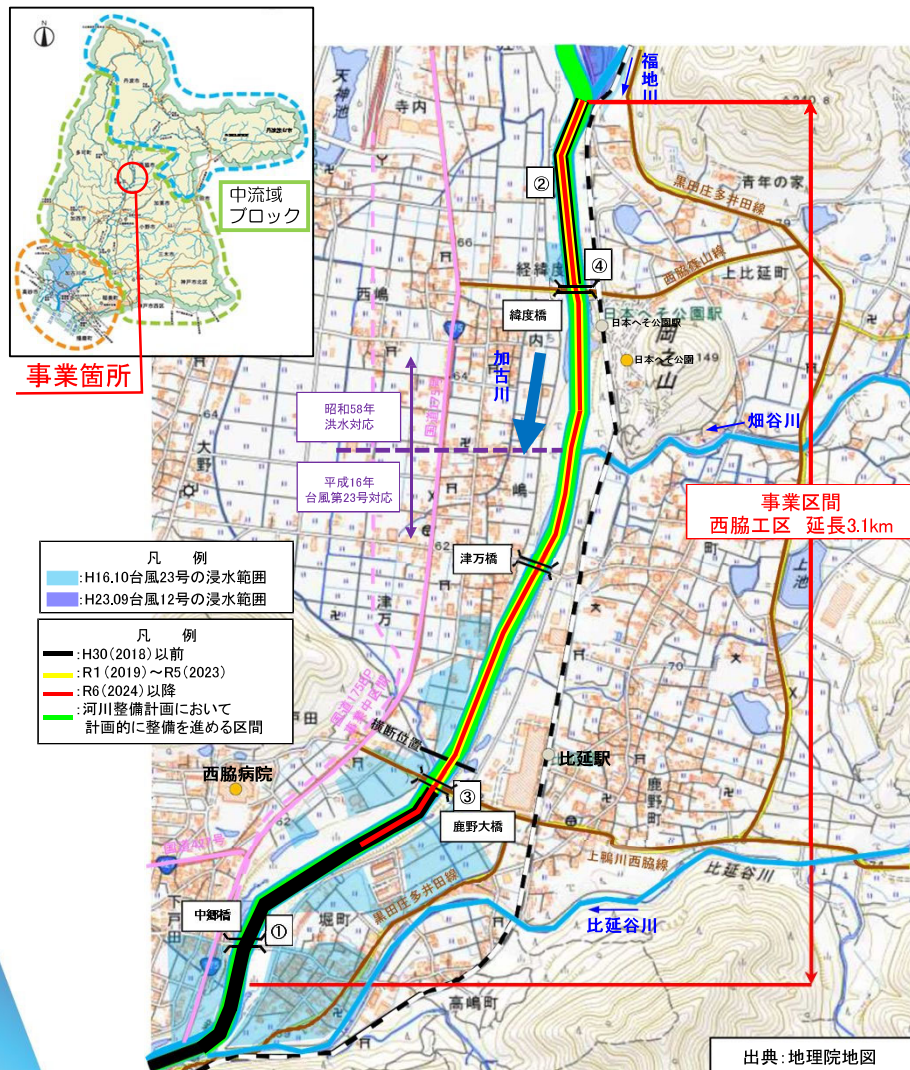
※令和5年度事業評価 加古川水系中流圏域

河川対策

中流域ブロック（河床掘削他）

兵庫県

加古川（西脇市）



完成区間



残事業区間



工程表

— : 実施・計画

種別	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
掘削										

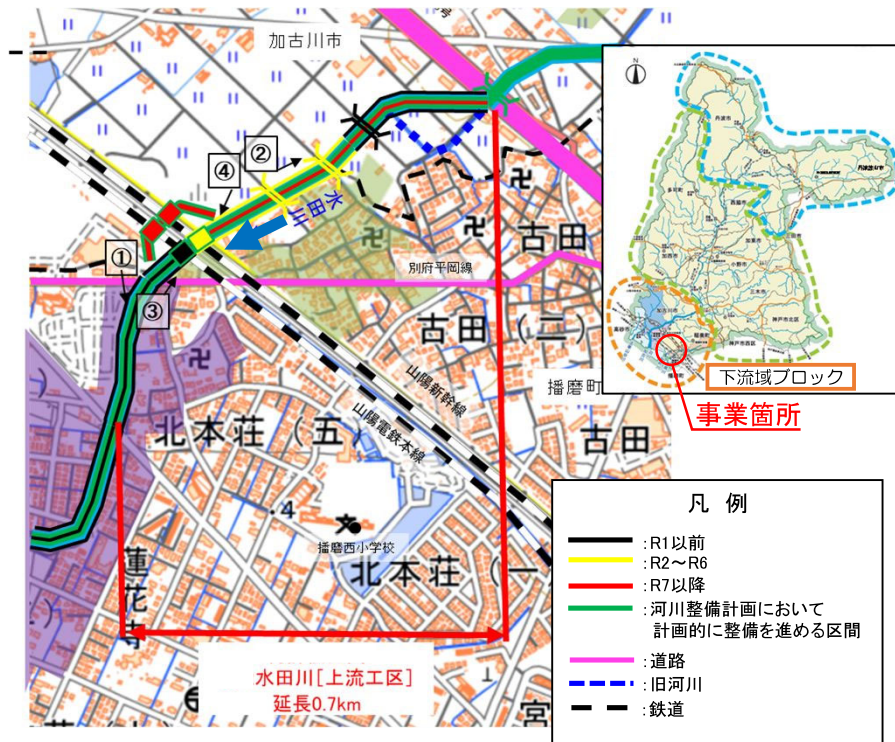
※令和5年度事業評価 加古川水系加古川中流圏域(西脇工区)

河川対策

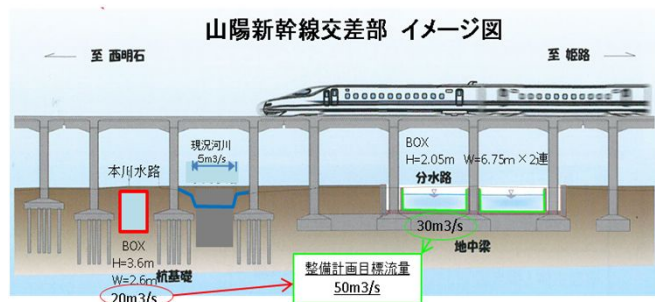
下流域ブロック（河床掘削他）

兵庫県

水田川（加古川市）



横断面図



完成区間



護岸完成区間



残事業区間



工程表

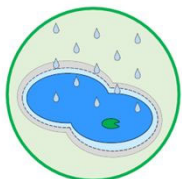
— : 実施・計画

種別	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
河道改修										
鉄道交差部 (分水路)										

流域対策

これまでの取り組み

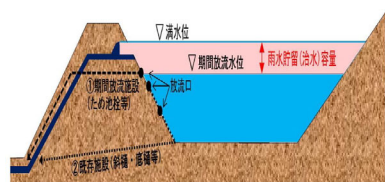
①ため池



○洪水吐や取水施設を活用した取り組みを令和5年度までに169箇所を実施している。

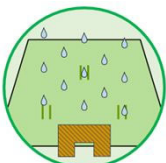
○ため池管理者にため池の保全の必要性や流出抑制効果などについて、十分な周知を図り、ため池の治水活用への取り組みを推進している。

※ため池管理者への助成制度 水利施設管理強化事業（特別型）



・出水期のうち少なくとも1ヶ月以上を定めて、ため池の水位を常時下げておくため池管理者の取組に対し、施設の操作・点検等を円滑に実施するための費用を国、県並びに市町が支援する事業

②田んぼダム



○田んぼダムの取り組みとして、令和5年度までに2,890haの水田を対象にせき板の配布を完了している。

③校庭貯留、雨水貯留タンクなど



○令和5年度までに県立高等学校で排水路、オリーブス樹など校庭貯留の整備を行った。

○県立都市公園や総合庁舎では、雨水タンクの設置などの雨水貯留の整備を行った。

④森林の整備及び保全



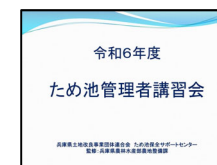
○森林管理により、土砂流出の抑制や斜面崩壊防止の抑制を図り、森林の保水機能の保全を行っている。

今後の取り組み

○今後も施設管理者と協議し、洪水吐や取水施設を活用した取り組みを継続していく。

○ため池管理マニュアルや解説動画を作成し、毎年更新していく。

○ため池の保全に関する様々な情報提供を行うため「ひょうごため池だより」を定期的に発刊していく。



ため池管理マニュアル解説動画

ため池管理マニュアル ひょうごため池だより

○さらに取り組みの普及啓発を行い、地域の安全度を高める取り組みを継続していく。

○今後も、学校、都市公園などの施設で貯留施設を整備し、雨水の流出抑制効果を高める取り組みを継続していく。

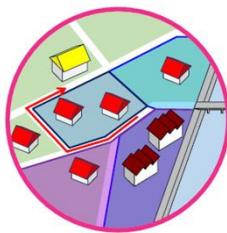
○森林を「県民総参加」で守り、育て、活かし、広げる取組として「新ひょうごの森づくり・第3期対策（令和4年度～13年度）」を進めていく。

○森林の防災面での強化を図るため「災害に強い森づくり（第4期対策：令和3～7年度まで）」を進めていく。

減 災 対 策

これまでの取り組み

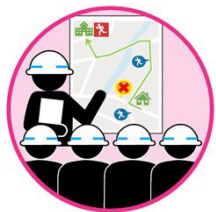
①浸水想定区域図、ハザードマップ



○県が管理する全ての河川について、想定し得る最大規模の降雨〔想定最大規模降雨〕による洪水浸水想定区域図等を作成している。

○CGハザードマップでは、それら洪水浸水想定区域図や、災害時のリアルタイム情報、過去の災害情報などの防災学習情報を1つに集約し、防災ポータルサイトとして公表している。

②防災リーダーの育成



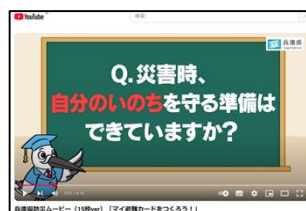
○地域防災の担い手となるリーダーの育成として、「ひょうご防災リーダー養成講座」や、災害時の避難行動や避難所での対応を体験する「自主防災力パワーアップ講座」を実施している。

③マイ避難カードの普及啓発



○マイ避難カードの作成について、作成の手引きを記載したパンフレットやYouTube動画を公開している。

※マイ避難カード
災害時にどのように避難するかを、事前にカードに書き記しておき、いざという時の避難行動に役立てる。



兵庫県防災ムービー
(マイ避難カードをつくろう!)

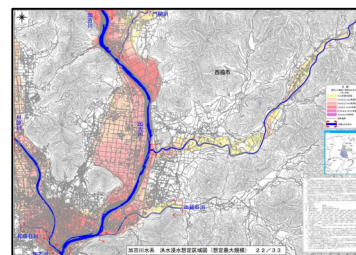
④フェニックス共済の加入促進



○フェニックス共済とは、被災後の住宅及び家電の再建を支援する共済制度であり、フェニックス共済の加入促進に努めている。

今後の取り組み

○引き続き、CGハザードマップを用いて、各種浸水想定区域や河川水位等のリアルタイム情報、河川のライブ映像、防災学習等の情報を発信していく。



洪水浸水想定区域（加古川中流圏域）



CGハザードマップ

○引き続き、ひょうご防災リーダーの育成講座や自主防災力パワーアップ講座、マイ避難カードの普及啓発を行っていく。

○引き続き、フェニックス共済の加入促進に向けて、出前受付や普及啓発などを行っていく。



ひょうご防災リーダー養成講座



フェニックス共済

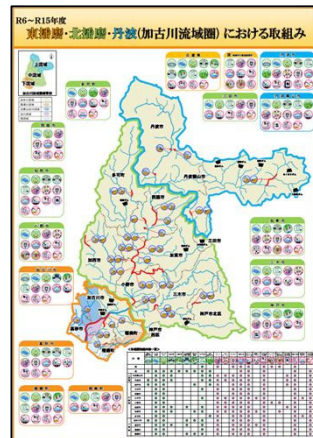
普及啓発

○パンフレットの作成（本協議会で提示）

- ・加古川流域圏 総合治水推進計画の概要をわかりやすくまとめたパンフレットを作成し、住民に加古川流域圏での総合治水の取り組みを理解してもらい、取り組みの推進を図る。



作成中のパンフレット
（表紙）



作成中のパンフレット
（裏面）

○総合治水推進週間（毎年5月15日～21日）に合わせ、懸垂幕を掲示。



※ 総合治水推進週間とは、日本で総合治水対策の意義・重要性に対する流域住民の理解と協力を求める働きかけを全国的に展開することにより、総合治水対策の推進を図るための週間。

○広報誌の作成（県民だより6月号（R6））

【県民だより6月号（R6）】

- ・梅雨の時期に合わせて、風水害に備えを呼びかけ、総合治水の普及啓発を行っている。



総合治水への参画の呼びかけ



県民だより6月号（R6）

【防災の日に合わせたポスター】

- ・ハザードマップや気象情報の収集、待避所の確認等の水害への備えを呼びかけ、減災対策に関する普及啓発を行っている。



ドセキリュウ・ゴウ・防衛隊 兵庫県最大の激闘
（特撮怪獣映画をイメージ）

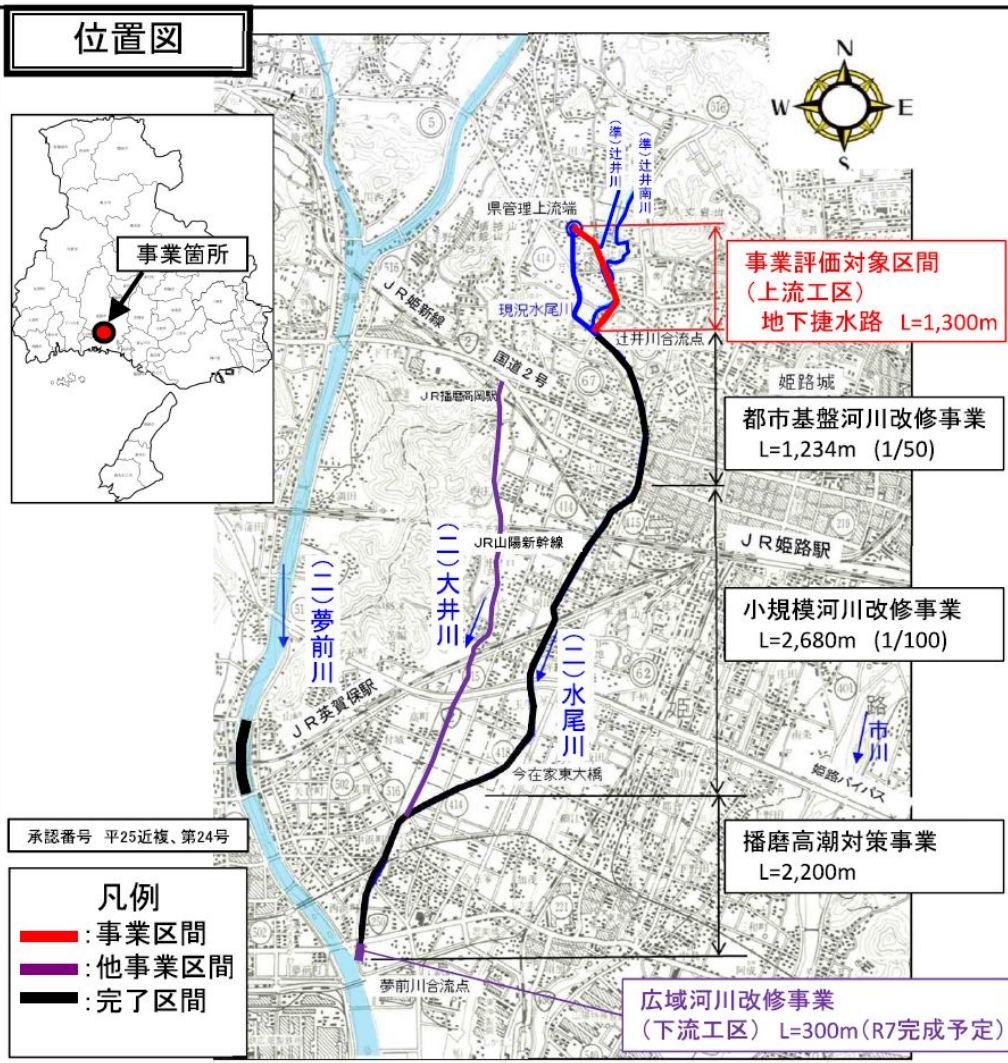
他流域の事例について

(二)水尾川の河川下水道対策 ～下水道事業と連携した整備～

<水尾川の取組概要>

- 姫路市街地で人家等が連担しており河道拡幅が困難であるため、県道下に捷水路を整備予定
- **河川事業（県）と下水道事業（市）の共同事業**として実施し、効率的に浸水被害を軽減
- R6年3月に特定都市河川指定ロードマップを公表し、市との合意形成に向けて協議中

位置図



現況写真

①現況水尾川河道



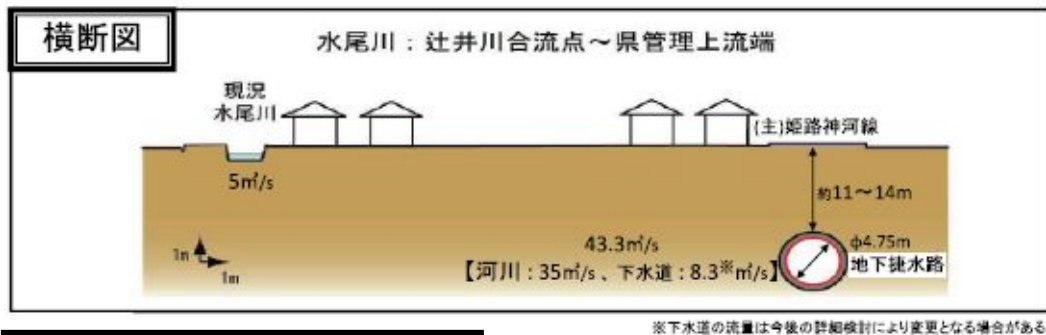
②現況水尾川河道



③平成23年台風12号 浸水被害状況



横断面図



特定都市河川指定ロードマップ

水系	代表河川	指定河川数	実施主体	R5	R6	R7	R8	R9～	備考
夢前川水系	水尾川	1河川	兵庫県姫路市						
特定都市河川指定に向けた検討・合意形成								指定	計画検討
								計画策定	浸水被害対策の実施

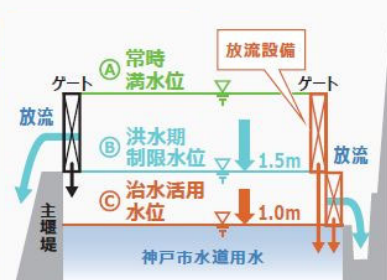
■既存ダムの治水活用 ～河川管理者による施設改築



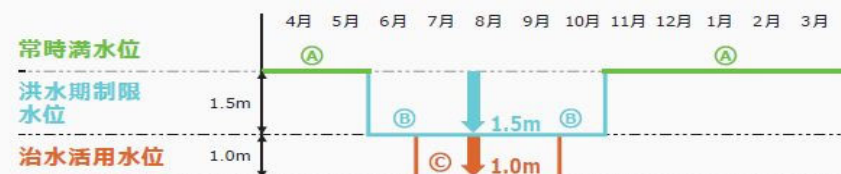
- 県内の既存45ダム（利水ダムを含む）で利水者と連携し、**合計約6,400万 m^3 の治水活用容量**を確保
- 利水ダムの**千苺ダム（神戸市）**、**名塩ダム（西宮市）**では、**河川管理者（県）が放流設備等の改築**を行い治水活用を実施

千 苺 ダ ム

- 貯水容量：1,124万 m^3
- 事業期間：H30～R4 年度
- 事業費：約28億円
- 事業概要：7～9月の3ヶ月間、最大約100万 m^3 を治水活用（試行中）
- 工事概要：放流設備 ドロップ式ゲート1門 他



治水活用事業後の月ごとの水位



名 塩 ダ ム

- 貯水容量：80,600 m^3
- 事業期間：H30～R3 年度
- 事業費：約0.5億円
- 事業概要：通年で、約37,000 m^3 を治水活用
- 工事概要：洪水吐改良、既存ゲート撤去



洪水吐を改良し、
既存ダムを治水活用

災害の自分事化の取組



そなえる

○「自分事と捉えることを促す」取組みとして、他部局と連携した**防災学習**の実施や**イベント**への**参画**を推進

防災学習

■高等学校等と行う流域治水の模型製作(カリキュラム連携事業)



県立東播工業高校



県立農業高校



神戸市立科学技術高校

※カリキュラム連携事業：県内高校等の流域対策、減災対策の普及啓発事業等へ助成

■模型を活用した出前講座



■防災教育教材の配布



学習指導案、説明資料、ワークシート、映像教材等で構成

イベント

■総合治水展(模型実験などの企画展)



■西播磨フロンティア祭での企画展やパネル展示



■ 浸水による被害の軽減に関する学習

バス車外広告や公用車に設置するマグネットシートを用いた兵庫県CGハザードマップの普及・啓発（検討中）

○ バスへの車外広告掲載や公用車へのマグネットシート設置による広域的な公報により、
多くの人に兵庫県CGハザードマップを認知・活用してもらうことで、災害時における県民の安全性の確保につなげる。



イメージ



イメージ

【丹波市】雨水管理総合計画

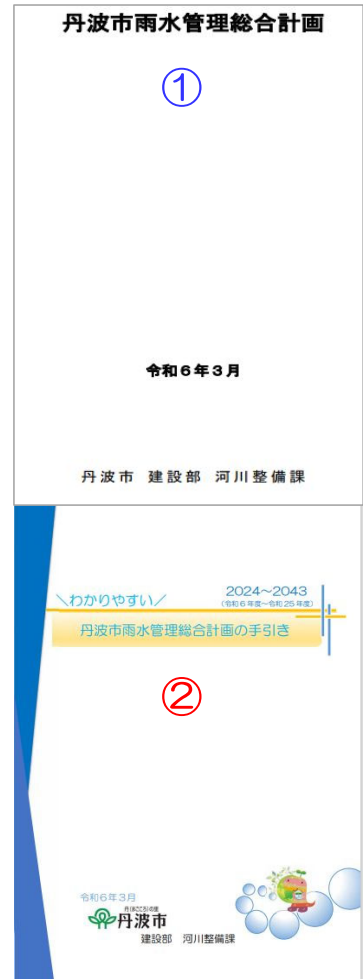
【概要】近年、地球温暖化などの影響による局地的大雨等の発生や、都市化に伴い、雨水流出量が増加している状況であり、内水による浸水被害の解消及び軽減を図るために、既存ストックを有効活用し、市内のあらゆる関係者との協働により対策に取り組む観点から、「下水道による雨水管理計画」ではなく、自助・共助・公助による具体的で実効性のある取組により浸水被害の軽減を図る「総合治水」の考え方を取り入れた、丹波市独自の雨水管理総合計画を策定し、公表しています。

ホームページには、「雨水管理総合計画（本編）…①」と、計画の内容を抜粋し、イラストなどを使用して、内容を解りやすく、より多くの皆さまに活用して頂けるよう補完的にまとめた「雨水管理総合計画の手引き…②」を掲載しております。「手引き」では、総合治水の「ためる・そなえる・ながす」対策を基本に考え、山林から河川までの範囲において、どのような取組ができるか、行政及び市民・事業者におけるハード対策・ソフト対策の具体例を記載し、市、市民、事業者や兵庫県などの関係機関、市内のあらゆる関係者との協働により、それぞれの立場から対策を総合的に取り組むことにより、市全域の基本方針としての「浸水被害の解消もしくは軽減」を目指して事業展開していこうとしているものです。

【基本方針】 浸水被害の「解消」もしくは「軽減」

【浸水対策の取組】 「ためる」・「そなえる」・「ながす」

【計画期間】 令和6年度～令和25年度（20年間）





西脇市の総合治水の取組

- 1 水の学習会
- 2 モデル地区 黒田庄町福地の取組
- 3 台風や豪雨による水害の激甚化・頻発化にそなえる

1 水の学習会

そなえる対策

総合治水の啓発



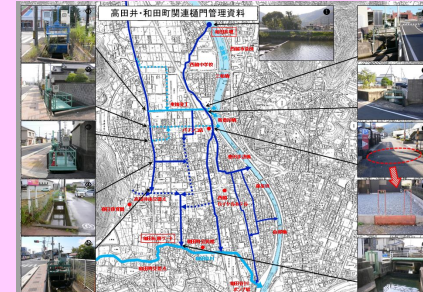
津万地区



和田町



消防本部・消防団



市街地の水の流と
水防時の操作方法の確認

そなえる対策

台風に備えての取水ゲート操作



津万地区（津万土地改良区）



堰板・ゲートの操作確認



堰板の設置方法の確認
（上 野）



転倒ゲートの操作方法
（西脇区）

2 モデル地区 黒田庄町福地の取組

【被害の状況】

平成25年台風18号 住宅浸水35戸（床上31戸・床下4戸）



【 総合治水 】 効果的に組み合わせる

ながす対策

県：河川整備
市：下水道設備



ためる対策

（水田貯留、ため池貯留など）

そなえる対策

（地元によるタイムライン、樋門管理など）

ながす対策

加古川の河床掘削(県)



福地川堤防高上げ(市)



福地雨水ポンプ場 (市)



15m³/分

ためる対策



低下水位 H=0.7m
貯留容量 V=3,500m³

2 モデル地区 黒田庄町福地の取組

そなえる対策

水防訓練（事前点検）



避難訓練（避難所へ送迎）



操作訓練(自治会による操作) 事前ゲート操作（上流カット）



そなえる対策

●黒田庄町福地地区のタイムライン

番号	施設名所	管理者	2～3日前	前 日	当 日	適 用
①	門柳川取水工	福地	動作点検	閉鎖		福地のみの用水か？
	門柳川放流工（フラップ）		目視点検			ゴミ等が無い
②	門流川流域流入カット	岡	動作点検	閉鎖		
	①福地南樋門	福地	動作点検			
	②③④フラップゲート		目視点検			
③	⑤福地北樋門	福地				
	揚水ポンプ設置10m ³ /分	福地	動作点検			
	⑥津万井樋門	津万井				
	宮池	津万井				
④	福谷池					用水利用
	長池					事前放流依頼
						常時減水可能
						防火用水のみ活用
		岡				
		津万井				
	排水路（ゲート）	岡		樋門操作		
⑤	福地川堤防嵩上げ					福地川の逆流抑止対策含む
⑥	福地川のフラップゲート17箇所	福地	点検			ゴミ等の確認
P	福地雨水ポンプ場15m ³ /分					道路天40cm下（63.40）運転
	消防団					パトロール実施

地元のタイムラインに沿って水害に
平成30年7月豪雨 住宅浸水 無し
"そなえる"

※ 原因究明から計画作りを地元と共に行い、新たな施設と既存施設を運用した「タイムライン」を作成。

2 モデル地区 黒田庄町福地の取組



国土交通大臣賞 「循環のみち下水道賞」 受賞

令和元年9月10日

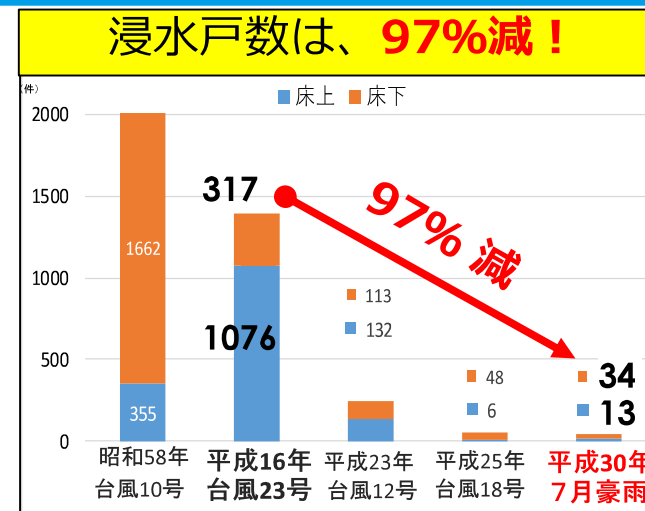
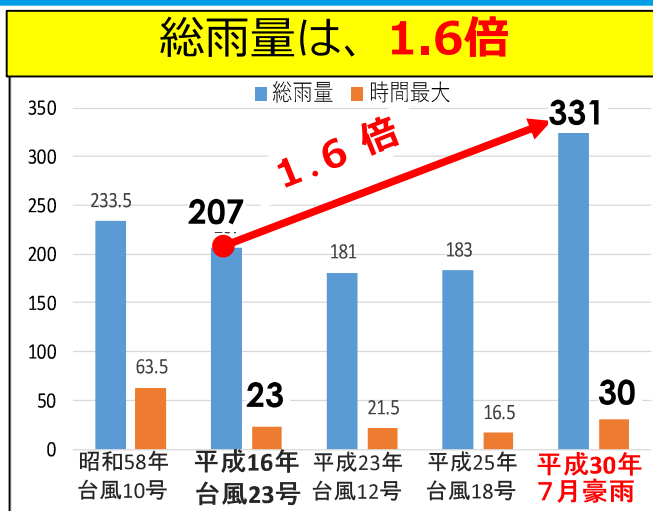
防災・減災部門
「地域と一体となった浸水対策」



にっしー

黒田庄町福地 西脇市長 国土交通大臣
(藤田副区長) (片山象三) (石井啓一)

3 台風や豪雨による水害の激甚化・頻発化にそなえる



**平成30年7月豪雨では、黒田庄町福地の upstream に位置する
黒田庄町田高、黒田庄町前坂で浸水被害が発生**

黒田庄町前坂



黒田庄町田高



3 台風や豪雨による水害の激甚化・頻発化にそなえる



地元と調整会を実施 (情報収集)

step1

① 黒田庄地区 (加古川東部)

② 黒田庄地区 (加古川西部)

<<平成30年度から町単位で実施>>



地域総合治水対策
(ながす・ためる・そなえる)



氾濫解析を行い計画を策定

step2

地域における雨水排水路整備の実施計画 と タイムラインを作成

下水道事業で早期対策工事を実施

step3

令和4年度より流域単位での「水の学習会」を実施

step4

黒田庄西部井堰協議会

(船町、田高、石原、西澤、大伏)



令和6年5月18日

流域合同で課題を共有

黒田庄東部三ヶ村合同

(喜多、前坂、黒田)



令和6年6月26日

現在まで、延べ34回を実施

3 台風や豪雨による水害の激甚化・頻発化にそなえる



そなえる対策

三か村合同のタイムライン

令和4年度 三か村(喜多前坂黒田)タイムライン(案)

箇所番号	施設名	対策施設	2～3日前	前日	当日	備考(確認事項)
①	喜多前坂黒田井堰	取水ゲート	動作確認 目視点検	ゲート閉		ゴミ等が挟まっているか 河川からの流入はないか
②	黒田北極門 黒田中極門 黒田南極門	鋼製ゲート W2.0×H2.0	動作確認 目視点検		ゲート閉 状況確認 ゲート閉	水位標は確認出来るか 変形や破損等の確認
③	南谷川放流ゲート (山鼻)	フラップゲート φ900	動作確認 目視点検			ゴミ等が挟まっているか 変形や破損等の確認
④	〃	鋼製ゲート W1.0×H0.7	動作確認 目視点検	ゲート閉		ゴミ等が挟まっているか 止水は出来ているか
⑤	前坂樋門	鋼製ゲート W3.5×H3.5	動作確認 目視点検		ゲート閉 状況確認 ゲート閉	水位標は確認出来るか 変形や破損等の確認
⑥	喜多北極門	鋼製ゲート W2.5×H2.5	動作確認 目視点検		ゲート閉 状況確認 ゲート閉	水位標は確認出来るか 変形や破損等の確認
その他	地元消防団活動				消防車待機	水位記録 操作記録・写真

前坂樋門 浸水センサーで樋門操作準備



3 台風や豪雨による水害の激甚化・頻発化にそなえる



そなえる対策

お天気キャスターと作る！ マイタイムライン作成講習会

講師

気象キャスター・流域治水アンバサダー

澤 麻美

気象予報士 防災士

共催：兵庫県北播磨県民局加東土木事務所
西脇市

後援：加古川中流部河川整備推進協議会

気象の専門家による近年のお天気講座とともに、
ハザードマップを使用して、参加者一人ひとりの
「マイ・タイムライン」を作成しました



R7.1.26(日)

高校生からお年寄りの方まで、市民42名が参加

そなえる対策

わが家の防災計画の作成



手作り防災マップの作成



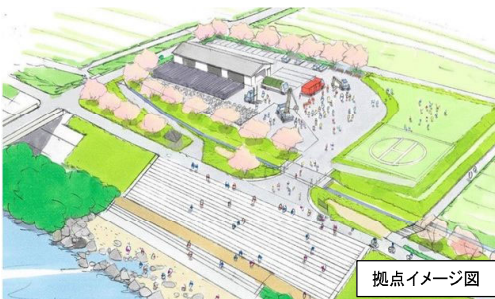
我が家の避難計画の作成支援の実施

【小野市】MIZBE(ミズベ)ステーションの整備

【概要】 現在、加古川で大規模な堤防決壊が起こった場合は下流域の「加古川河川防災ステーション」を拠点として物資輸送等の災害復旧活動を行うが、中流域にはこのような施設がなく、大規模な堤防決壊時に必要となる資機材等の整備、緊急復旧活動など迅速な対応を図るための拠点を整備する。

一方、災害時以外の平常時には当施設を賑わい創出の拠点とするため、「大部・河合地区かわまちづくり事業」を推進することで、「災害時の初動施設としての機能のほか、平常時の賑わい創出の拠点としての一面を持つ新たな河川防災ステーション」＝「MIZBEステーション」としての整備を国と共同で進めている。

【整備内容】 防災公園、交流施設、ヘリポート、備蓄資材置場、作業ヤード等
【整備規模】 約7,700m²
【計画期間】 R5 詳細設計・用地買収、R6～R7 造成工事、R8 建物整備



消防団活動支援システムの導入

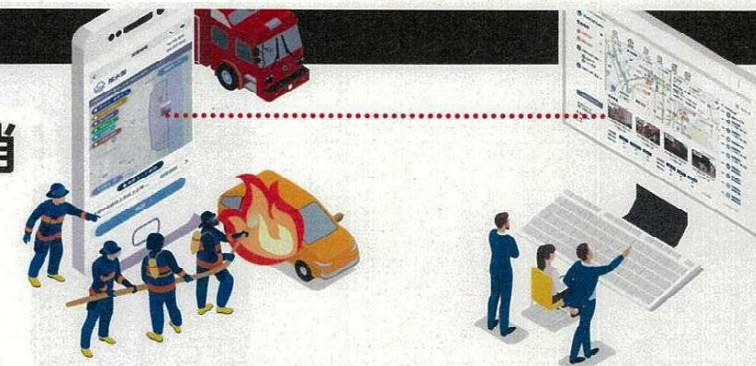


**消防団活動の
オールインワンDXツール
消防団のお悩みを解決します**

※FireChief® は株式会社タスキテックの商標または登録商標です

団員・幹部団員・事務局の「困った」をまとめて解消 消防団のDX対策をワンストップで実現

出動指令から出動状況の把握、現場情報の共有、事後処理まで。消防団活動におけるあらゆるプロセスをアプリで一元管理。いつ・どこで・だれが・何をしているか、まとめて可視化することで、効率の良い消防活動を実現します。



災害時の課題

団員・幹部団員

- 緊急伝達手段がメールや防災無線なので、夜中など参集に気づかない



事務局

- 現場での活動状況、部署位置が不明
- 活動人員など出動団員の記録が曖昧



導入したら...



マナーモード中でも緊急地震速報のように喚起音を鳴動することが可能。夜間の消防団参集が効率よく行えます。



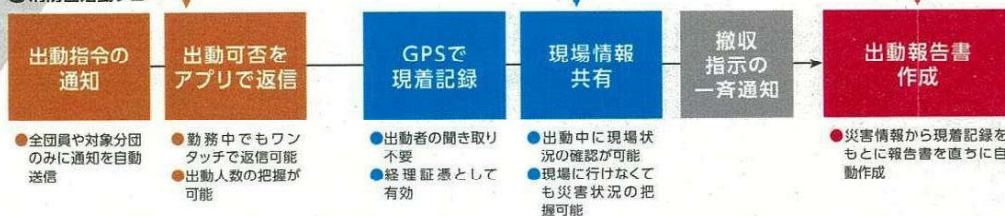
団員の参集状況や位置情報、現場の動画を地図上にマッピング。参集の通知と現場情報を全て確認できます。



その他の機能

出動指令のプッシュ通知／
動態管理、災害情報や業務伝達／
消防団員同士から他の分団へのチャット・通話

消防団活動フロー



消防団出動報告書の自動作成など、
出動報告のDX化が可能です。
(特許7083554)

消防団庶務の課題

団員・幹部団員

- 出動報告書の記入と事務局への提出、スケジュール管理や分団員への調整などの負担が大きい



事務局

- 個人支給・源泉徴収への対応が急務
- 個別の報告書から活動情報を一元管理するのが大変



導入したら...



訓練や防火指導などの日程調整を一括管理。幹部団員による提出された報告書の承認作業もアプリ内で完了。

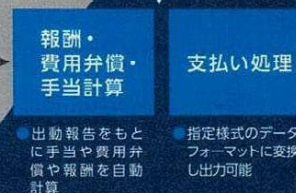


随給・日給の計算、課税・非課税の計算、源泉徴収の算出及び発行が可能です。



その他の機能

幹部消防団員への連絡／
全消防団員へのお知らせ／PDFデータのやり取り／スケジュール管理が可能





令和 7 年 2 月 3 日

加古川流域圏 第2回総合治水推進協議会

浸水センサを活用した取組

K A K O G A W A S M A R T C I T Y P R O J E C T

加古川市 企画部 デジタル改革推進課 スマートシティ推進担当

加古川市におけるワンコイン浸水センサの活用状況

SDGs 未来都市
KAKOGAWA

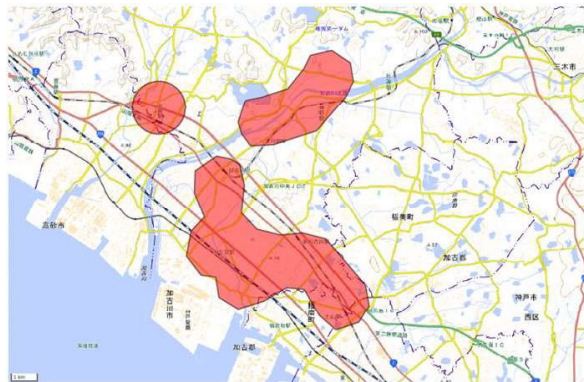


■ 国土交通省が実施する実証への参加理由

- 生産年齢人口減少により職員数を維持していくのは困難、維持管理していくインフラの数は減らない。
- 気候変動により、日本においても豪雨災害の激甚化・頻発化が起っており、**レジリエンスを高める**。
⇒ **水害対策をいかに効率的に行うかを検証するため**、ワンコイン浸水センサーを設置している。

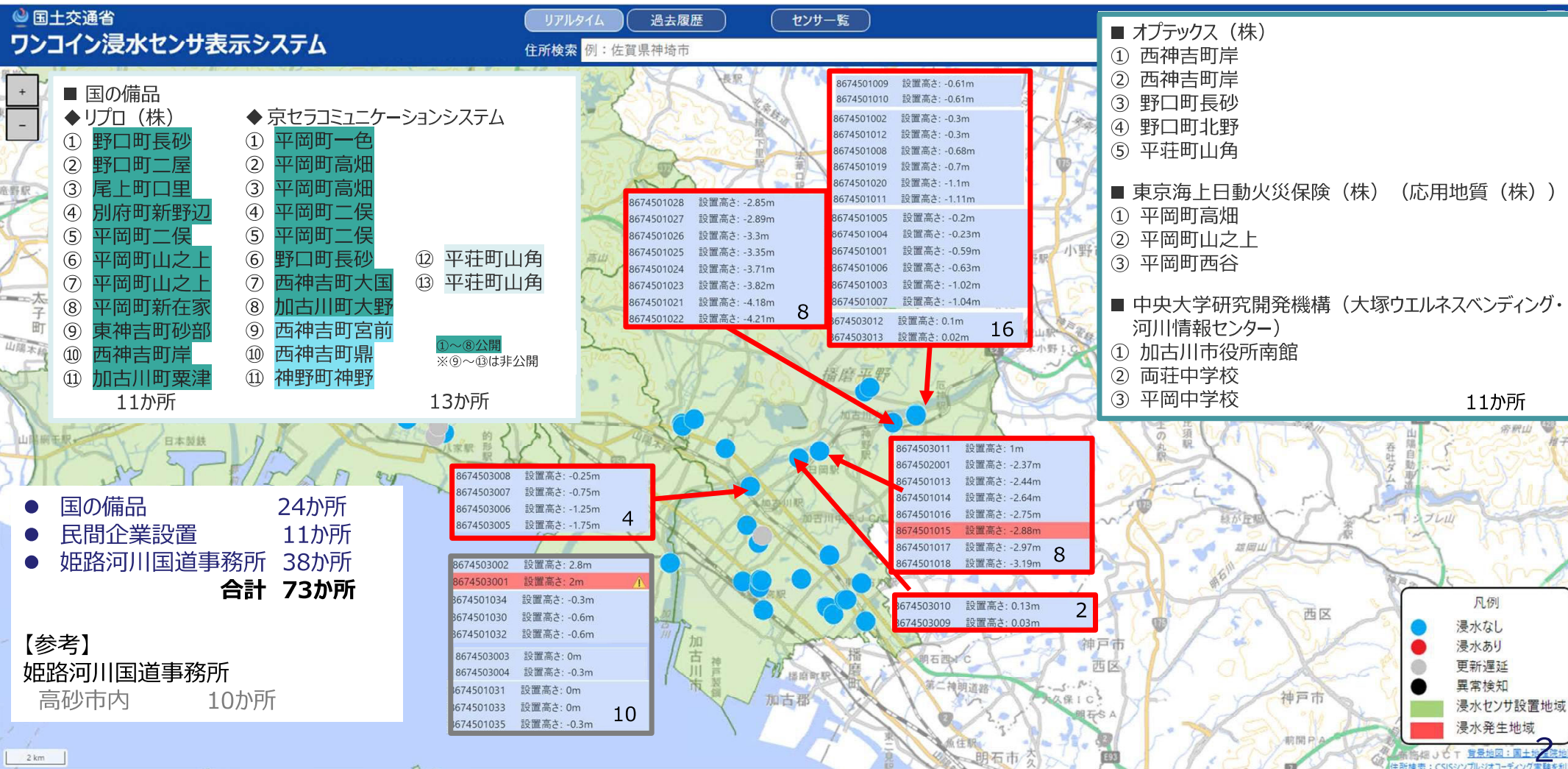
■ 設置場所の選定

- **内水氾濫実績がある水路やアンダーパスなどを中心に設置**



市内設置状況

SDGs未来都市
KAKOGAWA



ワンコイン浸水センサを用いた広域防災の取組

浸水センサを設置し、水位上昇時には迅速に災害情報を伝達



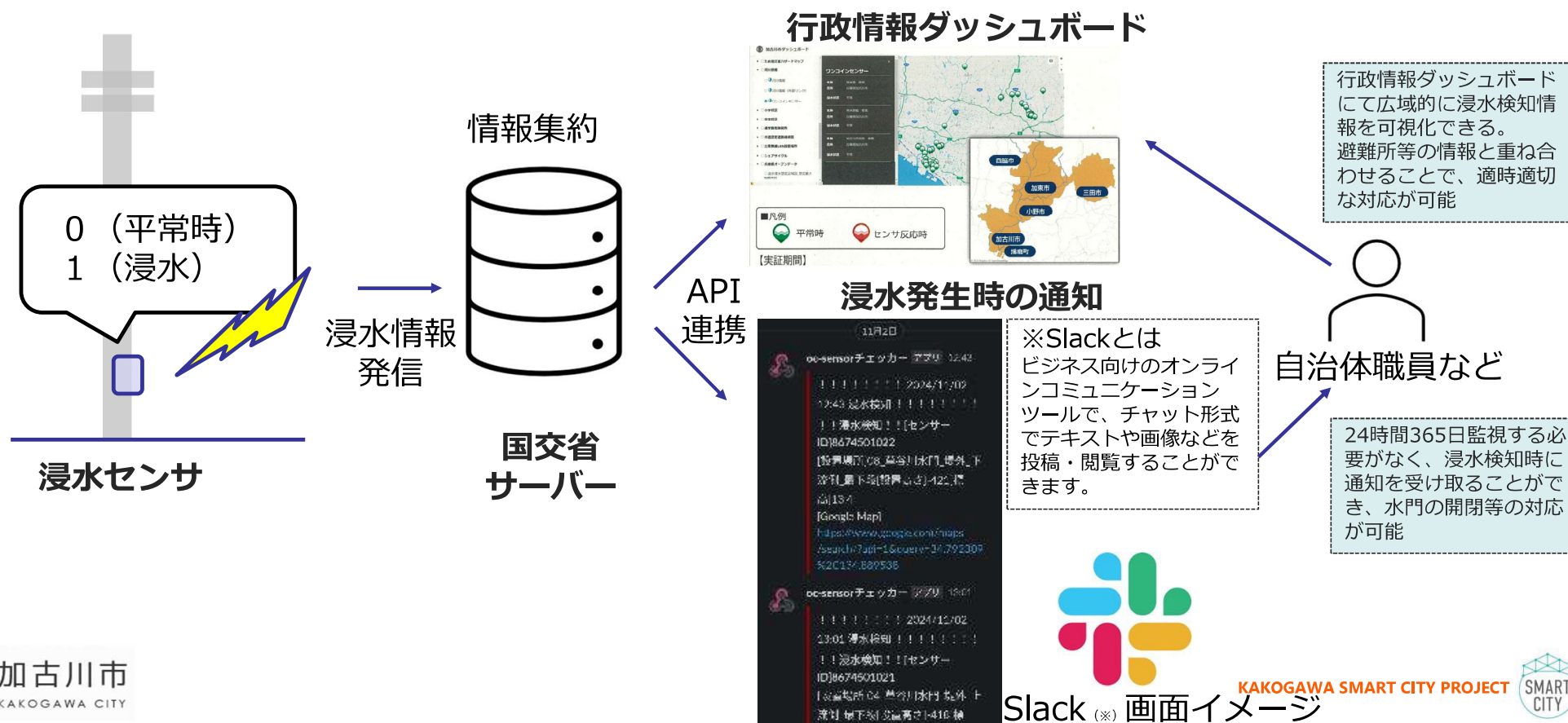
加古川市の情報連携基盤を活用し、
他市町の浸水センサの情報を行政
情報ダッシュボードで可視化



国土交通省「ワンコイン浸水センサの実証実験」プレスリリース (2022 年3月18日)

広域防災サービスの概要（情報集約～可視化・通知の流れ）

今年度は、Slack (※) による通知機能を構築することで、浸水発生時に、担当者が現地に赴くことなく迅速に情報収集でき、適時適切に避難行動等の判断が可能となります。



加古川市におけるワンコイン浸水センサの設置効果

SDGs未来都市
KAKOGAWA



● 令和4年度

- 住民から問い合わせがある前に水門を開けに行くことができ、住民の安心につながった。

● 令和5年度

- 台風による豪雨や集中豪雨などの際に行政情報ダッシュボードでセンサの状況を確認

※大規模な浸水被害がなく、設置による迅速な対応につながらなかった。

- 深夜に浸水被害があった際に浸水時間を把握することができ、住民に正しく説明することができた。

- 加古川流域の自治体等や姫路河川国道事務所の浸水センサ等のデータを連携・一元化（国土交通省都市局）スマートシティ実装化支援事業

● 今後に向けて

- ポンプ場や農業用の水路に設置
- 職員が現地確認が必要な場所について、センサで補完することで、効率的な対応を目的に設置を検討
- 浸水センサを国が国ダッシュボードに公開（R6.11.14）
- センサ情報を起点にした広域での情報共有の仕組みを検証予定



水門付近における越水の検知 設置位置の例

※加古川支川の曇川の、加古川合流部付近の水門に設置（右図赤丸部）

Google Map KAKOGAWA SMART CITY PROJECT

